

目次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	… 2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	… 2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	… 2

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

千葉大学医学部では現行の入学定員 117 名を維持する。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

千葉大学では、地域医療を担う医師の減少に対処するために医師の地域定着を促進する教育課程を導入・実施してきた。しかしながら、地域医療を担う医師の不足は継続しているため、本学では医学部入学定員増員時に導入された地域枠制度を維持して、より多くの地域医療を担う医師の養成を目指すものである。

一方、研究医養成については、研究に従事する医師の減少による基礎系の教員確保や医学教育の質の低下について危惧する声や、我が国の国際競争力を強化するという社会的要請が大きくなってきているため、平成 25 年度に臨時定員増として措置された研究医枠定員 2 名について、令和 2 年度の臨時定員増の終了後も同数の定員を維持して、引き続き研究医の養成を目指すものである。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

地域枠については、令和 4 年度入学者より、地域枠学生を対象とする科目「地域医療学」の内容を充実させている。

また、研究医枠学生を対象とする科目「スカラーシップ・アドバンスプログラム」及び「イノベティブ先端治療学・アドバンス」の内容を充実させるとともに、学部在籍中の大学院科目の先行履修を認める。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

【地域枠学生】

現在、1 年次向けに「地域医療学」を開講し、講義や実習を通して地域医療を学ぶ機会を提供している。また、1～4 年次向けに「チーム医療Ⅰ～Ⅳ（IPEⅠ～Ⅳ）」を開講し、講義の他に保健、医療、福祉現場の見学や地域医療におけるプライマリケアの実践を組み込んでいる。さらに、3 年次向けに「医師見習い体験学習」を開講し、自らのキャリアについて考察する機会を提供するとともに、チーム医療同様、地域医療におけるプライマリケアの実践を組み込んでいる。4～6 年次の臨床実習では、5 年次の「地域臨床実習」の他、各診療科の実習においても地域医療機関で行う機会がある。さらに 6 年次には「地域医療実習」を開講し、学生が地域医療の現場体験や関連する学会に参加することにより、その重要性や課題の理解を図っている。また、既述の「地域医療学」については、学習機会を 2 年次以後にも提供し、地域医療に関連して自らのキャリアパスについて考える機会を提供している。

【研究医枠学生】

現在、研究医枠の学生は、一般学生の選択科目である「スカラーシップ・アドバンスプログラム」を必修科目として履修し、配属された研究室で研究指導を受けている。また、「イノベティブ先端治療学・アドバンス」を履修することによりイノベーションマインドを高めている。上記に加え、「スカラーシップ・アドバンス特別コース」履修者のうち、「スカラーシップ・アドバンスプログラム」の単位修得者及び単位修得見込み者（研究を継続しており、卒業までに成果をあげ、単位修得が可能と指導教員が認めた者）には、2 年次以降に特定の大学院科目の先行履修を認め、発展的な内容の科目の早期受講を推奨し、現在の

研究活動の更なる発展に資するとともに、卒後の大学院進学時の受講の負担を軽減し、研究時間の確保を図ることを目的とする。

(ウ) 教員組織の変更内容

収容定員変更後の教育課程を実施・運営するための教員を十分に配置している。

教育課程の実施・運営のためには、教員の理解と実践が不可欠であるため、FD、ワークショップなどを開催し、教員の教育に対する理解の深化と指導力（モチベーションを含む）向上を図ることとしている。

地域枠学生が必修単位として履修する科目のユニット責任者として、医学部教員がカリキュラム及び参画する教員間との共同体制を構築し、地域医療を担う医師の育成を実践し、今後もこの共同体制をより充実させていく。

研究医枠の教育実践の向上のため、「スカラシップ・アドバンスト特別コース」に中心的に関わる教員が研究医枠担当教員として学部学務委員会の委員として活動している。

(エ) 施設・整備の変更内容

令和3年度に医学系総合研究棟が竣工し、教育・学習スペースが充実した。講義室や実習室の整備とともに、グループ学習室を増設し、新たにアクティブラーニングスペースを設けた。グループ学習室やアクティブラーニングスペースは、従来からのチュートリアル教育のほか、研究医枠学生向けの「イノベティブ先端治療学・アドバンスト」や地域枠学生向けの「地域医療学」等で活用しており、教育環境の充実を図ることができている。

また、医学部附属病院に隣接した立地であるため、臨床系教員の利便性向上により、診療参加型臨床実習のより一層の充実、基礎系教室と臨床現場円滑な接続に寄与している。

令和 8 年度
医学部入学定員増員計画

千大政第 40 号
令和 7 年 8 月 20 日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人千葉大学長
横 手 幸太郎

「地域の医師確保等の観点からの令和 8 年度医学部入学定員の増加について（令和 7 年 8 月 5 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

< 連絡先 >

責任者連絡先	職名・氏名	企画部企画政策課長・横山保朗
	TEL	
	E-mail	

1 基礎医学及び社会医学の研究医養成のための入学定員増を実施する趣旨

千葉大学医学部（以下「本学」）では、平成25年度に基礎医学及び社会医学の研究医を志す人材育成を推進する目的で、研究医枠の設置および2名の入学定員増が許可された。以降、本学では、これらの研究医枠学生に対し、研究を推進するために必要な知識や技術ばかりでなく、研究に必須である医学への興味・探求心および研究者としての素養を涵養する教育を進めてきた。現在に至るまで、継続的に教育・指導が進められており、当該学生は医学部卒業後に、大学院進学、研究論文発表など研究者に必要なキャリアを重ね、海外留学も視野にしている。

本学では1年次から6年次にわたる継続した研究室配属カリキュラムである「スカラーシッププログラム」が開講されている。研究医枠に選抜された学生は全員、それぞれが興味を持つ大学院医学研究院等の研究室に配属のうえ「スカラーシッププログラム」の上級コース「スカラーシップ・アドバンスト特別コース」を受講して、6年間を通して教員や大学院学生と共に研究に参加することで、研究者としての研鑽を積んできた。研究医枠学生の多くが千葉大学医学部の主催する「ちばBCRC（Basic & Clinical Research Conference）」で日頃の研究成果を発表するとともに学会発表、論文発表を行っている。これら研究医枠学生の学内外におよぶ学術面での活躍は目覚ましく、数々の実績を積む過程で、本学学生へも多大な影響を与えている（研究医学生による国内学会発表33件（筆頭25件）、国外学会発表10件（筆頭4件）、英文原著論文11件（筆頭3件）、「ちばBCRC」での発表15件、研究医養成コンソーシアム発表24件）。

さらに、令和2年度には、医学部学生が大学院の一部の授業を受講して本学大学院の単位に振替ができる「大学院授業科目の先行受講」制度が開講した。また、研究医枠で医学部在籍中に行っていた研究を卒業後もシームレスに継続できる「研究指向型臨床研修（基礎研究医プログラム）」も令和4年度から開始した。このように医学部在籍中の期間のみにとどまらず、将来的なキャリア構築を見通した研究医枠学生への支援が整っている。

本学は率先して、研究医枠の継続を申請することにより、研究医不足に起因した近年の弊害（解剖・生理・病理教育者や法医学者の不足、臨床研究・橋渡し研究の低下）を解消し、日本の医学研究を担う研究者育成を行っていきたいと考える。

2 研究医養成拠点として相応しい実績

継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績	別添様式1参照
-----------------------	---------

★送付している別添様式1に記入し、資料として添付すること。

継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績	別添様式1参照
----------------------	---------

★送付している別添様式1に記入し、資料として添付すること。

大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等	『文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」』（2012年度～2018年度） 『文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業「未来医療を担う治療学CHIBA人材養成」』（2013年度～2017年度） 『文部科学省 基礎研究医養成活性化プログラム「病理・法医学教育イノベーションハブの構築」』（2017年度～2021年度） 『文部科学省 卓越大学院プログラム 「革新医療創生CHIBA 卓越大学院」』（2019年度～2025年度） 『文部科学省 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業「地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域思考型医療人材養成プログラム」』（2022年度～2028年度） 『文部科学省 質の高い臨床教育・研究の確保事業「高度な連携実践能力を有する人材養成と双方向情報システム構築による持続的かつ先導的な包括的臨床教育研究支援プログラム」』（2023～2025年度） 『文部科学省 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン 「関東次世代のがん専門医療人材養成プラン」』（2023年度～2028年度）
-------------------------	---

他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績	千葉大学は総合大学として広い領域で研究が進められている。大学全体での令和6年度の科研費新規採択件数では、全国第13位である。しかし医学研究の領域についての活動状況を反映する指標でみると、令和6年度の中区分別の科研費の採択件数は、千葉大学における治療学研究の中核をなす中区分55の「恒常性維持器官の外科学およびその関連分野」では5位、中区分53の「器官システム内科学およびその関連分野」において全国で第9位である。重点的に研究を推進している「治療学研究」の領域で、わが国の研究をリードする大学としての責務を果たしている。
--------------------------------------	---

3 研究医養成に関する取組状況①

（１）設定する学部・大学院教育を一貫して見通した特別コースの概要及び履修者の確保状況

コース名	①スカラーシップ・アドバンスト特別コース
特別コースの概要（※）	①研究医枠学生に対する特別コースとして、現在、医学部在籍中のカリキュラムである「スカラーシップ・アドバンスト特別コース」を実施している。本コースは、研究医を目指す医学部学生に対し、質の高い指導を行うように設定されているが、研究医枠が２名に限られているのに対し、同様の志を持つ学生はこれより多い。これらの学生にも修学の門戸を広げるために、受講資格は研究医枠に限定せず、また、受け入れ教室も基礎の研究室ばかりでなく臨床の教室での基礎・臨床研究への参加も受け入れており、各学年２０名余りの研究意欲の高い学部生を対象に実施されている。

※本欄には特別コースの概要を簡潔に記載し、その**具体的な内容（学年進行、履修内容等）がわかる資料を別添様式１のフローチャートを含め、添付すること（★）**
※特別コース開始後、これまでにその内容に変更があった場合又は今後変更する予定がある場合には、その旨を記載するとともに、変更前と変更後の両方の資料を添付すること

特別コースの履修者の確保状況	別添様式１参照
----------------	---------

（２）複数大学の連携によるコンソーシアムの形成

連携先大学	①「東日本研究医養成コンソーシアム」東京大学、群馬大学、山梨大学、金沢大学、北海道大学、東北大学、慶應義塾大学、横浜市立大学、順天堂大学、新潟大学 ②「全国基礎研究者養成イニシアチブ」東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、金沢大学、山梨大学、順天堂大学、神戸大学、三重大学、東京慈恵会医科大学、慶應義塾大学、新潟大学、滋賀医科大学、藤田医科大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、広島大学、大分大学、北海道大学
連携先大学との取組の概要（※）	①過去の取組： 「関東四大学研究医養成コンソーシアム」立ち上げ： 本学は平成２２年度に、いち早く東京大学、群馬大学、山梨大学とともに「関東四大学研究医養成コンソーシアム」を立ち上げ研究医養成拠点を形成すべく連携を強めてきた。コンソーシアムは、毎年１回合宿形式で会合（リトリート）を開催し、これまでに１４回にわたり学生の研究発表、先輩教員によるキャリア形成講演を行ってきた。さらに各大学の取り組みを紹介することで自大学におけるシステム強化と改善の参考になる情報を交換した。学生には発表、討論の経験を持てるばかりでなく、人とのつながりの重要性を認識する機会にもなった。本学からはこれまでに延べ１１５名の学生が本コンソーシアムに参加している。第２回、第６回、第１２回は本学が主管校となり、学生が主体的にコンソーシアムの企画・運営を行った。定型のプログラムのみでなく、学生のアイデアで様々な悩みに関するグループディスカッションを取り入れるなど、多面的な交流が図られた。 ①今後の取組： 「東日本研究医養成コンソーシアム」構成大学として、今後の連携および内容の協議は既に行っている。コンソーシアムはさらに複数大学の参加要希望を受けて拡大され、現在は１１大学の参加となり名称も変更された。広く、且つ密度を落とさない連携がますます必要になっており、リトリートのみでなく、大学間の学術研究交流や研究室見学なども計画している。本学も継続的にコンソーシアムへ参加して、学生のモチベーションの向上と一層の研究能力の開発・研究医養成拠点としてのさらなる充実に貢献する。 ②過去の取組： 「全国研究医養成イニシアチブへの参加」 今まで医学会総会や他学会と並行して数年に１回開催され、本学からも学生が参加していた。令和５年４月には第３１回日本医学会総会において全国研究医養成イニシアチブ（東京大学・京都大学主管）が開催され、本学からも３名の学生が参加して研究発表を行うとともに、４名の教員も参加して、大学間の交流・情報共有を行った。令和７年３月の全国リトリート2025（東京大学・名古屋大学主管）にも学生４名が参加して研究発表を行い、うち２名がポスター賞を受賞した。令和７年の会は全医学部に参加を呼びかけられ、参加校は２０大学に及んだ。 ②今後の取組： 全国研究医養成イニシアチブへの参加： 本校も今後も参加して学生のモチベーション向上を図るとともに、多くの情報を共有することで研究医養成の本流形成に貢献する。

※過去に入学定員増を実施した大学においては、過去の取組と今後の取組の両者について記載すること

連携大学との役割分担	①情報共有：毎年１回合宿形式で会合を行い、学生の研究発表、先輩教員によるキャリア形成講演、各大学の取り組みの紹介を行うことで、さらなるシステム強化と改善の情報交換が可能となり、何より学生間交流を深めることができる。様々な分野に進む学生は医学部在籍中から人とのつながりの有難さ、重要性を知ることができている。主管校：主管校を輪番にしており、第２回、第６回、第１２回は本学が主管大学となり、学生を中心にコンソーシアムの企画・運営を行った。 ②情報共有：参加校として学生の発表を行うとともに、教員も情報共有を行う。今後も参加校として学生の機会の提供、情報共有を行う。
------------	---

（３）研究医としての従事を条件とする奨学金制度の概要及び奨学金の給付等の状況

奨学金制度名	①千葉大学医学部研究医養成修学資金
奨学金の種別	①貸与型
貸与時期・金額	①医学部1年から6年までの6年間 5万円/月
従事要件	①医学部においてスカラシップアドバンスト特別コースを履修、卒後12年の間に大学院博士課程進学、さらに2年以上、計6年間研究に従事する
奨学金制度の概要（※）	①卒後の研究に従事する期間を「卒後10年の間に6年間従事」から「12年の間に6年間」に変更

※本欄には奨学金制度の概要を簡潔に記載し、その具体的な内容（対象者、金額等）がわかる資料を添付すること

※奨学金制度開始後、これまでにその内容に変更があった場合又は今後変更する予定がある場合には、その旨を記載するとともに、変更前と変更後の両方の資料を添付すること

奨学金の給付等の状況	別添「07_【09_千葉大学】奨学金給付等の状況.xlsx」参照
------------	----------------------------------

（４）キャリア支援

研究医としてのキャリア支援に関する取組	①「大学院授業科目の先行履修」制度が令和２年度から開始された。より専門的な科目への興味に応えとともに、大学院進学・初期研修を同時に進めるにあたっての先行受講の意味合いもある。研究医枠学生および「スカラシップ・アドバンスト特別コース」受講学生（認定研究医枠）のみに受講資格を与える特別カリキュラムとして、既に令和３年度には４名の学生がのべ８科目を、令和４年度には２名の学生が２科目、令和５年度には３名５科目、令和６年度には１名１科目をそれぞれ受講している。 ②医学部卒業後の大学院カリキュラムとして、初期研修中にも大学院進学を並行して行い、研究活動の継続を可能にする制度「研究指向型大学院博士課程プログラム（基礎研究医プログラム）」を令和４年度より開始した。これにより、研究医枠で医学部在籍中に行っていた研究を卒業後もシームレスに継続することができ、一方で専門医の受験資格取得も可能となる。 ③キャリアに関する情報提供：全体講義、ちばBCRC、コンソーシアムなどにおいて卒業生や研究者のキャリア・留学に関する情報を提供している。
---------------------	--

（５）海外での研究・研修の機会提供の取組及び医学部学生の採用状況

海外での研究・研修の機会提供の取組	本学では、希望者に対し海外の研究機関での研修プログラムを提供しており、毎年多くの学生が一定期間の海外研修を行ってきた実績がある。さらに、長期間連続した海外研修を可能にすることを目指し、本学では平成２８年度に、学事歴にターム制を導入し、大学の単位取得に影響することなく１ターム（２カ月間）の海外研修を行うことが可能となった。 また、令和２年度から、５年次に１ターム（２カ月間）分、学生自らで自己を研鑽するためのプログラムを企画発案し実施する「アスパイア・プロジェクト」をスタートした。研究医枠学生にはこの時期を利用し、国内外で自らの研究を進展させることを勧奨することとしている。 これと共に、令和２年度から本学では千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”の一つの柱である「全員留学」を開始した。そのための資金あるいは留学をサポートする事業を全学で進めており、研究医枠学生もこれらの制度に則り、長期の海外留学が可能になる。
医学部学生の採用状況	今まで研究医枠学生の米国研究留学は２名（Texas A&M University ２週間）、さらに2015-2019年の夏季に学生を選抜して一週間程度の米国La Jollaでの研修を行っており、１名の研究医枠学生、２名のアドバンストコース学生が参加したが、その後コロナ禍で留学が停止されていた。現在は再開し、令和６年は２か月間のUCSD、La Jollaの留学に１名の研究医枠学生が参加している。令和７年には、アドバンストコース学生１名がSalk研究所で約２か月間の研究活動を行った。

4 研究医養成に関する取組状況②

専用の入試枠の設定による選抜の実施の有無	無
実績「有」の場合 選抜方式	別枠かどうか 一般選抜方式・学校推薦方式・総合型選抜方式
資料	★選抜方法がわかる資料（募集要項等）を添付すること （様式自由）
実績「無」の場合 （※）	※今回の入学定員増にあわせて選抜を実施するよう変更する予定がある場合には、その旨を本欄に記載すること
学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置（※）	①平成30年度に「治療学推進イニシアチブ・スカラーシップ研究助成」制度を発足し、学内の研究助成金の募集を行い、配属先の研究室に研究費の支援（合計33件、医学部からの拠出総額2,940万円）を行った。 ②「スカラーシップ研究助成金制度」：令和4年度には、「千葉大みらい医療基金」において、創設された。助成を希望する「スカラーシップ・アドバンスト特別コース」受講の学生と指導者とのペアで申請し、研究内容の評価を受けたのち交付される。令和4年度は7件、令和5年度は9件、令和6年度は11件が採択された。令和7年度も13名の学生の研究を支援するため、同様に公募中であり、今後も継続していく予定である。 ③学外実習経費：令和5年度から、学生が東日本研究医養成コンソーシアムなどで研究発表を行う際は参加費・旅費に対する支援を医学部学外実習経費から行うことになった。 ④みのはな同窓会研究助成：令和6年度からはみのはな同窓会から研究発表支援を受けられる体制が整った。⑤千葉医学会奨励賞：ちばBCRCの研究発表最優秀発表者は千葉医学会奨励賞を受賞の上副賞として研究助成金を受ける。

※予算措置の具体的な内容について記載し、必要に応じて資料を添付すること

学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築	
形式	①「ちばBasic & Clinical Research Conference（ちばBCRC）」 ②研究医養成コンソーシアム（リトリート）・全国基礎研究者養成イニシアチブ ③学会発表・論文発表
具体的な内容 （※）	①ちばBasic & Clinical Research Conference（ちばBCRC）」 学生同士の情報交換を進める目的で、本学医学部主催で平成19年度より年1回開催している。1年次から3年次までの全医学部学生、4年次から6年次までの研究医枠学生をはじめとする希望者が一堂に集まり、ディスカッションする場を提供している。基礎、臨床の研究室のトピックスを伝える各教授の講演、研究キャリアを伝える特別講演とともに、学生研究の口頭発表の場としても機能している。研究医枠学生もこの発表が自らの目標になるとともに、下級生に成果を伝えることで研究マインド涵養のすそ野を広げている。会の運営にも学生が参加し、会の立案、広報などの準備とともに司会、座長なども学生が行っている。 ②研究医養成コンソーシアム（リトリート）・全国基礎研究者養成イニシアチブ 研究医養成コンソーシアムは、年1回開催するリトリートにて学生が口頭発表、ポスター発表にて研究成果を発表している。毎年継続され、今までに本学からの参加学生数は延べ125名になる。現在11大学が参加するまでに拡大し、学生間、教員間の交流の場ともなっている。 全国基礎研究者養成イニシアチブは数年に1度開催される全国規模の大学間リトリートで、学生の口頭発表・ポスター発表での研究発表や教員間での情報共有が行われる。本校も参加し、発表の機会としても取り入れている。 ③学会発表・論文発表「スカラーシップ・アドバンスト特別コース」 で進められた研究成果をもとに、それぞれ配属された研究室が専門とする国内外での学会発表や論文発表の指導を受け、毎年多くの医学部学生が学会で成果発表を行い、優秀発表者として表彰されている。

※具体的な発表機会の内容（どのような場・形式での発表機会が確保されているか等）及び指導体制（教員配置等）について記載し、必要に応じて資料を添付すること

研究医となった際の 常勤ポストの確保の 取組	平成24年度に本学大学院医学研究院では先端研究リサーチフェロー（Medical Research Fellow）制度を設定して、以降優秀な人材を特任教員として採用している。医学部卒業後に大学院博士課程に進学し、一定の業績を挙げた場合は、本制度を用いてポストの提供並びに研究の支援を行う。現在2名の大学院卒業者がおり、 XXXXXXXXXX に就任した。今後もポストの確保を検討していく。
------------------------------	---

卒業生の状況	現在に至るまで、7年間16名の卒業生のうち、2名が大学院を卒業して助教に就任した。さらに4名は基礎系の大学院へ進学しており、4名は臨床系大学院進学が内定、6名は初期・後期研修中で大学院へ進学することを希望している。
臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮	本学では、革新的な治療法の確立を目指す「治療学」の推進に注力しており、この推進には臨床医学の場にいる臨床医学研究者と基礎医学の場にいる基礎医学研究者が両輪となって研究を進めることが必須である。基礎医学研究者も、治療学の臨床現場の課題や目的を正確に理解することが求められる一方、短期間であっても治療学の現場を経験することは不可欠である。そこで臨床研修と研究活動との両立を図るために以下のシステムを構築した。この二つの対応により、医学部在籍中に進めた研究を継続して大学院博士課程での研究課題としてさらに推進することを可能にする。 1) 基礎研究医プログラム 初期臨床研修制度に沿って研修している間に並行して大学院進学を可能とし、医学部在籍時からの研究継続性を担保できる「研究指向型大学院博士課程プログラム（基礎研究医プログラム）」制度を令和4年度から開始した。この制度では、大学卒業直後の初期臨床研修中であっても大学院博士課程の入学および基礎医学講座の配属を可能とし、一方では臨床診療科との連携により専門医資格獲得にも支障をきたさない研修プログラムを提供する。 2) 医学部在籍中の大学院単位の先行履修 研究医プログラム制度をより実効的に進める目的で、医学部在籍中に大学院博士課程の講義や演習を受講可能とする医学部在籍中の「大学院授業科目の先行履修」制度を令和2年度から発足させた。既に令和3年度には4名の学生がのべ13科目を、令和4年度には2名の学生が2科目、令和5年度には3名の学生が5科目、令和6年度には1名の学生が2科目、令和7年度は3名5科目をそれぞれ受講している。
その他研究医に必須の能力を養成する上で必要不可欠と考えられる取組	研究医を養成するためには、入学後早期から、医学研究を推進するために必須な学術基盤となる生命科学の基礎的知識および研究方法論とともに、実際の研究技法も十分に修得する必要がある。すなわち、基礎医学系および臨床医学系各種研究領域の先端的・応用的研究に触れるとともに、具体的な実験を経験することを通じて、それらの実験科学を自ら体得することが必要である。従って、生命科学における科学的思考法を身につけながら学問体系構築の道筋を理解し、医学研究へのモチベーションを涵養する教育プログラムを構築することが求められる。この目的のために本学では、6年間継続可能な研究室配属である「スカラーシッププログラム」が構築されており、研究医養成を目指す一貫した研究医養成プログラムが医学部の各研究講座で着実に進められている。さらに、ちばBCRCなどの学生発表会を通して企画・運営・司会・座長にも関わることで信頼関係を築きリーダーシップを身に着ける機会を設けている。

5 過去に当該枠組みにより入学定員増を実施した場合の現在の状況

大学が講ずることとされた措置の履行状況（※）	研究医枠学生は、選択科目である「スカラーシッププログラム」の上級コースである「スカラーシップ・アドバンスト特別コース」を全員が履修している。本コースでは、上級生や大学院学生と共に研究指導を受けており、研究医枠学生の多くが本学の主催する「ちばBasic & Clinical Research Conference（ちばBCRC）」で日頃の研究成果を発表している。更に、「ちばBCRC」では、学生が発表だけでなく、企画、運営、当日の司会、座長も務めるなど、将来研究医として必要な適切な状況判断と行動力、集団を牽引するリーダーシップを学ぶ場となっている。 さらに、世界を牽引するリーダーシップ、革新的な科学の創出を可能とする知識と技能を兼ね備えることを可能とする全人的な教育が不可欠であることから、『文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」』、『文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業「未来医療を担う治療学CHIBA人材養成」』および『卓越大学院プログラム「革新医療創生CHIBA 卓越大学院」』『文部科学省 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン「関東次世代のがん専門医療人養成プラン」』に基づいて、様々なアプローチを使いながら、意欲のある学生を指導してきた。
------------------------	--

※過去に入学定員増を実施した際の要件、当時の増員計画書等を参照し、大学が講ずることとされた措置の全てが履行されていることを確認の上、その状況を記載すること

研究医養成に関する 取組の有効性の確認 (※)	本学では、医学部学生に対して「スカラシッププログラム」を実施しており、研究マインドの涵養のため、将来医師となる全ての学生に履修が義務付けられている。さらに、研究医枠学生を念頭に、より深い研究活動を支援するための上級コースとして、「スカラシップ・アドバンスト特別コース」を設定している。本コースの学生は、大学院生とともに研究室に所属し、教員、大学院生、医学部に在籍する上級生から屋根瓦的に研究および発表の指導を日々継続的に受けている。このコースで進められた研究成果をもとに、医学部学生はそれぞれ配属された研究室が専門とする国内外での学会発表や論文発表の指導を受け、実際に毎年多くの研究医枠学生が「ちばBCRC」で発表を行っている。また、学会で成果発表を行い、優秀発表者として表彰され、学術論文として成果を発信している研究医枠学生もいる（研究医学生による国内学会発表３３件（筆頭２５件）、国際学会発表２５件（筆頭４件）、英文原著論文１１件（筆頭３件）、「ちばBCRC」での発表１５件、研究医養成コンソーシアム発表２４件）。さらにスカラシップアドバンストコース全体での業績は、国内学会発表１５９件（筆頭１３６件）、国際学会発表２５件（筆頭１９件）、英文原著論文５０件（筆頭３２件）、「ちばBCRC」での発表８７件、研究医養成コンソーシアム発表１０１件におよぶ。 なお、日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価でも高い評価を受けている。平成３０年度には、はじめて研究医枠学生が卒業した。現在に至るまで、７年間１６名の卒業生のうち、２名が大学院を卒業して助教に就任した。さらに４名は基礎系の大学院へ進学しており、４名は臨床系大学院進学が内定、６名は初期・後期研修中で大学院へ進学することを希望している。これらは本学の継続した取り組みによる大きな成果であると考えられる。
--	---

※過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともに記載すること

大学名	国公私立
千葉大学	国立

1. 現在（令和7年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
117	0	0	702

↑
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア) 入学定員	117	117	117	117	117	117	702
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	117	117	117	117	117	117	702

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和8年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	0	0	600

↑
(収容定員計算用)

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	100	100	100	100	100	100	600
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	100	600
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和8年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
117	0	0	617

↑
(収容定員計算用)

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
(ア) 入学定員	117	100	100	100	100	100	617
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	117	100	100	100	100	100	617
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数	17
--------	----

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	15
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	2
計	17

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	15
--------	----

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	千葉県	15
大学所在地以外の都道府県		
計		15

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R6地域枠定員 （※1）	R6貸与者数 （※2）	R7地域枠定員 （※1）	R7貸与者数 （※2）	R6とR7の貸与者数のうち 多い方の数
千葉県	15	20	15	20	20
					0
					0
					0
					0
					0
計	15	20	15	20	20

（※1）臨時定員分のみご記入ください。

（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和8年度地域の医師確保のための入学定員増について

1．大学が講ずる措置

1－1．地域枠学生の選抜

①令和6年度に実施した地域枠学生（令和7年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の 有無	（診療科の選定が 有る場合） その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
千葉県地域枠 入試	(iii) 一般選抜 地域枠（前期・後 期）	別枠（区別 型）	20	15	ア 選抜方法 入学者の選抜は、令和7年度大学入学共通テストの成績、 個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行います （過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません）。 合格者の決定は、総合得点により行います。 なお、同点者の順位決定については、文学部、法政経学 部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及び薬学 部においては、本学の個別学力検査等の得点が上位の者を順 先します。 また、合否判定基準を別に定めている学部があります（次のイ を参照）。 イ 合否判定基準 教育学部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及 び看護学部においては、個別学力検査等の得点が当該学部・ 学科等受験者の平均点に満たない教科・科目等があった場 合、不合格とすることがあります。 ウ「2段階選抜」の実施及び第1段階選抜実施の発表 2段階選抜とは、各学部・学科が指定する大学入学共通テス トの教科・科目の成績（配点）の総得点により第1段階選抜 を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行うもの です。 本学では、第1段階選抜の予告倍率を掲げる以下の学部・学 科において、志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた	出願要件（医学部医学科千葉県地域枠 入試の志願者のみ） 医学部医学科の千葉県地域枠入試に出 願できる者は、「(1) 出願資格」に加え、 次の①～③の出願要件をすべて満たす者と します。 ① 本学に入学する意志を有し、合格した 際に入学を確約できる者 ② 出願時に千葉県医師修学資金の貸与 申請を行い、修学資金を借り受ける者 ③ 将来、医師として千葉県知事が定める 医師不足地域等の医療機関に千葉県医 師修学資金の貸付期間の1.5倍に相当す る期間、従事しようとする強い意思がある 者	無		R2	
合計			20	15						

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②**令和7年度に実施する地域枠学生**（令和8年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	(診療科の選定がある場合)その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
千葉県地域枠入試	(iii) 一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	10	7	A 選抜方法 入学者の選抜は、令和8年度大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行います（過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません）。 合格者の決定は、総合得点によります。 なお、同点者の順位決定については、文学部、法政経学部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及び薬学部においては、本学の個別学力検査等の得点が上位の者を優先します。 また、合否判定基準を別に定めている学部があります（次のイを参照）。 イ 合否判定基準 教育学部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及び看護学部においては、個別学力検査等の得点が当該学部・学科等受験者の平均点に満たない教科・科目等があった場合、不合格とすることがあります。 ウ「2段階選抜」の実施及び第1段階選抜実施の発表 2段階選抜は、各学部・学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目の成績（配点）の総得点により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行うものです。 本学では、第1段階選抜の予告倍率を掲げる以下の学部・学科において、志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合に2段階選抜を実施することがあります。ただし、予告倍率を緩和する場合もあります。	出願要件（医学部医学科千葉県地域枠入試の志願者のみ） 医学部医学科の千葉県地域枠入試に出願できる者は、「(1) 出願資格」に加え、次の①～③の出願要件をすべて満たす者とします。 ① 本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者 ② 出願時に千葉県医師修学資金の貸与申請を行い、修学資金を借り受ける者 ③ 将来、医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に千葉県医師修学資金の貸付期間の1.5倍に相当する期間、従事しようとする強い意思がある者	無		R2	
千葉大学医学部医学科（千葉県地域枠入試）学校推薦型選抜	(i) 学校推薦型選抜	別枠（区別型）	10	8	(1)提出された書類（調査書、推薦書、自己アピール資料）並びに小論文及び面接により、第1次選抜合格者を決定します。 (2)第1次選抜合格者に対して、面接により第2次選抜を行います。 (3)最終合格者は、第1次選抜の結果、第2次選抜の得点及び令和8年度大学入学共通テストの成績を総合判定のうえ決定します。 一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施した場合 大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績（配点）の総得点が、同年度の一般選抜(前期日程)「一般枠入試」受験対象者の平均点を下回った者 一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施しない場合 大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績（配点）の総得点が概ね80%に到達しなかった者	3. 出願資格 次の(1)～(4)のすべての要件を満たす者 ①高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年（2026年）3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年（2025年）度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。） ②調査書の学習成績概評がA段階の者 ③出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦できる者 ④令和8年（2026年）1月実施の令和8年度大学入学共通テストで指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者 ⑤本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者 ⑥出願時に千葉県医師修学資金の貸与申請を行い、入学後に修学資金を借り受ける者 ⑦将来、医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に千葉県医師修学資金の貸付期間の1.5倍に相当する期間、従事しようとする強い意思がある者	無		R7年度（R8入学者）より開始	
合計			20	15						

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

1－2．教育内容

①**地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習**など、**地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和8年度）**について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

地域枠学生および一般枠学生を対象に、1～6年次に「地域医療学」、1～4年次に「チーム医療Ⅰ～Ⅳ（IPEⅠ～Ⅳ）」を開講している。地域枠学生は、1年次に講義の他保健、医療、福祉現場の見学や地域医療におけるブライマリアの実践を体験している。3年次に「医師見習い体験学習」を開講し、自らのキャリアについて考察する。4～6年次の「臨床実習」において「地域志向型PBL」、「地域臨床実習」など適宜地域での臨床実習を行い、6年次に「地域医療実習」を開講している。上記科目及び実習を通して、地域医療を学ぶとともに自らのキャリアパスについて考える機会を提供することとしている。

（参考：記入例）
1～2年次には、「○○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和8年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成21年度から地域枠による増員を開始し、「地域医療学」「チーム医療Ⅰ～Ⅳ（IPEⅠ～Ⅳ）」「医師見習い体験学習」「地域医療実習」などの授業の開講や、医師修学資金に係る委員会を設置し、千葉県医師修学資金制度の候補者の選考、受給学生の学業・進路等の相談などを行ってきた。令和7年度までに289名の地域枠学生を確保し、そのうち150名が現在、臨床医として地域医療に貢献している。

（参考：記入例）
平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和7年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年次	チーム医療Ⅰ（IPEⅠ）	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
2年次	チーム医療Ⅱ（IPEⅡ）	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
3年次	チーム医療Ⅲ（IPEⅢ）	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
4年次	チーム医療Ⅳ（IPEⅣ）	全員	必修	必修	実習	1	H22
3年次	医師見習い体験学習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
6年次	地域医療実習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
1～6年次	地域医療学	全員	必修	必修	実習	1	R2
4～6年次	臨床実習	全員	必修	必修	実習	59	H21以前

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度
1～6年次	夏季フィールドワーク	全員	千葉大学大学院 千葉県寄附講座 地域医療教育学講座が企画・運営	1～数日間、最長一カ月	地域医療機関の見学や活動補助を行う。	R5

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和 7 年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
ちば地域医療魅力発見セミナー	千葉県地域医療支援センター主催のセミナーに本学教員も協力しており、講演、グループワーク、地域病院スタッフとの交流会等を通して、地域医療についての理解を深めることを目的としている。	H28

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

2. 都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定 主体	貸与人数	貸与対象	貸与額（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定がある場合） その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
千葉県	20	新入生	150,000	10,800,000	大学を卒業した日の属する月の翌月の初日から起算して1年3月以内に医師の免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間（以下「義務年限」という。）、所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除します。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	無		

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

3. 在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

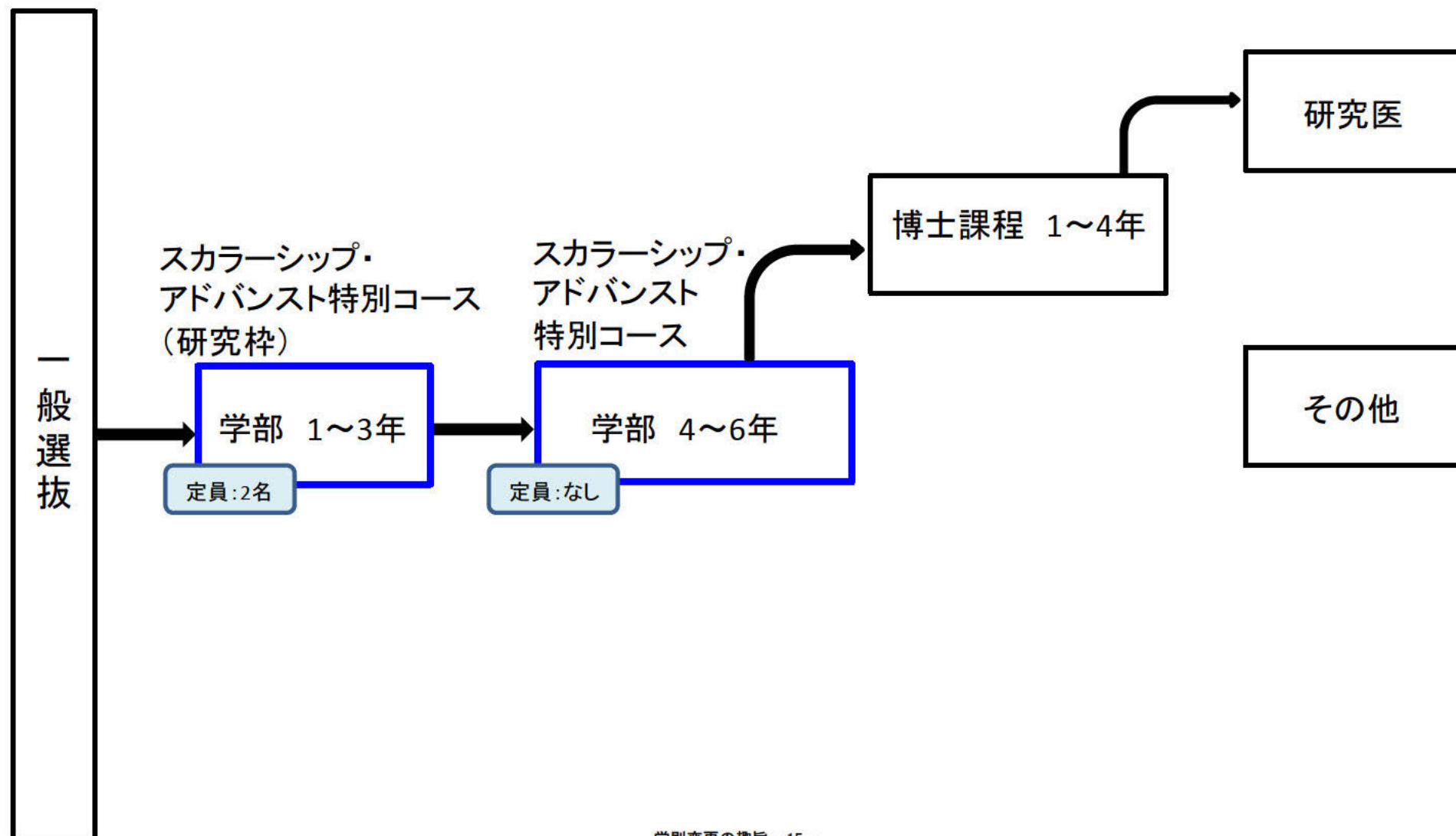
取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
キャリア形成プログラム	千葉県修学資金貸付制度利用者に対して、キャリアコーディネーターおよびキャリアサポーターを配置し、定期面談、制度説明会、および病院見学バスツアー等を行っている。	H30
千葉県寄附講座 地域医療教育学講座	地域枠学生に対して、地域医療に関する講義、シミュレーション学習、実習等を提供している。また、地域の場で良質な教育を提供できる人材である地域病院アテンディングを配置するとともに、定期的なファカルティ・デベロップメントを行っている。	R4

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

4. その他

1～3に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

- ・毎年、大学全体で千葉県高等学校進学指導担当教諭との懇談会を実施しており、今後も引き続き情報交換を続けていくこととしている。
 - ・毎年、本学教員が予備校の説明会に参加しており、今後も引き続き説明会に参加するとともに地域枠に係る情報提供を行っていく予定である。



実績

	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
特別コースの履修者数 ※当該年度の新規履修者	3	5	5	5	6	6	4	5	11	7	15

(入学年度)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
基礎・社会医学系大学院 進学者数【A】 ※括弧内は自大学出身者	30 (13)	23 (9)	30 (12)	37 (17)	33 (11)	24 (10)	30 (9)	26 (11)	30 (16)	31 (12)	22 (9)	20 (10)
臨床系大学院進学者数 【B】 ※括弧内は自大学出身者	88 (33)	81 (39)	96 (51)	100 (43)	93 (40)	97 (40)	89 (41)	92 (36)	94 (50)	127 (53)	124 (57)	130 (57)

(博士課程修了年度)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
【A】の修了者数	15	11	22	7	5	10	13	22	21	18	7
【B】のうち、基礎・社会学系 の論文(又は共著論文)を 執筆した修了者数	9	13	11	19	20	40	39	36	45	38	15
合計	24	24	33	26	25	50	52	58	66	56	22

(博士課程修了年度)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
基礎・社会医学研究分野 の就職者数	3	5	3	0	2	6	3	11	5	10	7
臨床系のうち、基礎・社会医 学研究に従事する者等の数	6	3	4	4	3	8	12	14	21	12	11
合計	9	8	7	4	5	14	15	25	26	22	18

令和 7 年度
**千葉大学
一般選抜
学生募集要項**

AD ALTIORA SEMPER つねに、より高きものをめざして

令和 6 年 10 月



CHIBA UNIVERSITY

2. 募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員		募 集 人 員					
				一 般 選 抜		特 別 選 抜			
				前期日程	後期日程	総合型 選抜	学校推薦型 選抜	園芸産業 創発学 プログラム 選抜	社会人 選抜
国際教養学部	国際教養学科	90	83	－	7	－	－	－	
文学部	人文学科	170	125	18	3	24	－	若干名	
法政経学部	法政経学科	360	290	65	5	－	－	－	
教育学部	学校教員養成課程	380	285	－	95	－	－	－	
理学部	数学・情報数理学科	44	29	15	－	－	－	－	
	物理学科	39	23	12	4	－	－	－	
	化学科	39	31	8	－	－	－	－	
	生物学科	39	29	10	－	－	－	－	
	地球科学科	39	30	5	4	－	－	－	
	計	200	142	50	8	－	－	－	
工学部	総合工学科	540	407	104	29	－	－	－	
情報・データ サイエンス学部	情報・データ サイエンス学科	100	70	－	－	30	－	－	
園芸学部	園芸学科	64	44	9	5	－	6	－	
	応用生命化学科	31	20	7	4	－	－	－	
	緑地環境学科	66	46	11	9	－	－	－	
	食料資源経済学科	29	23	2	－	－	4	－	
	計	190	133	29	18	－	10	－	
医学部	医学科※	117	102	15	－	－	－	－	
薬学部	薬学科	(50)	90	70	－	10	－	－	
	薬科学科	(40)				－			
看護学部	看護学科	80	49	－	－	24	－	7	
合 計		2, 317	1, 756	291	165	88	10	7	

※1 医学部医学科の募集人員には，千葉県地域枠入試の募集人員を含みます。詳しくは8ページを参照してください。

※2 上記のほかに，先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜の募集があります。

8. 医学部

医学部における一般選抜の募集人員は次のとおりです。

学科	入試枠	前期日程	後期日程
医学科	一般枠入試	82 名	15 名
	千葉県地域枠入試	20 名	—

【千葉県地域枠入試及び千葉県医師修学資金貸付制度について】

目的	医学部医学科の千葉県地域枠入試は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、千葉県と連携し、将来の千葉県内の地域医療を担う者を育成することを目的としています。千葉県地域枠入試に合格し、本学で修学する者には、千葉県が運営する千葉県医師修学資金貸付制度による修学資金を貸付けます。
制度概要	▶ 修学資金の貸付額（令和 6 年度実績） 月額 15 万円（6 年間合計 1,080 万円） ※以下は予定であり、変更となる場合があります。 ▶ 修学資金の貸与期間 令和 7 年 4 月から正規の修学期間を修了する月まで ▶ 修学資金の返還 次のいずれかに該当する事由が生じたときは、当該事由が生じた日の属する月の翌月の末日までに、借り受けた修学資金に利息を付した額を一括で返還しなければなりません。 ア 貸付期間が満了したとき。（返還免除要件を満たす見込みである場合は除く。） イ 修学資金の貸付けの決定が取り消されたとき。 ウ 千葉県知事が定める病院での勤務による返還の免除を受ける前に、死亡したとき。 エ 千葉県知事が定める病院での勤務による返還の免除を受けることができないと確定したとき。 ▶ 修学資金の返還免除 大学を卒業した日の属する月の翌月の初日から起算して 1 年 3 か月以内に医師の免許を取得し、千葉県が指定する期間内に修学資金の貸付期間の 1.5 倍に相当する期間、所定の医療機関に勤務したとき、修学資金の返還を免除します。 また、修学資金の借受人が死亡し、又は災害、病気その他やむを得ない事由により、修学資金の返還ができなくなったときは、修学資金の返還及びその利息の支払の債務の全部又は一部を免除することがあります。 ※千葉県地域枠入試により選抜された学生については、在学中はキャリア形成卒前支援プランの対象となり、また、卒業後はキャリア形成プログラム（修学資金の返還免除に必要な勤務の条件を示したもの）の対象となります。 詳細は、千葉県ホームページに掲載される「令和 7 年度千葉県医師修学資金募集要項（長期支援コース（地域枠）」をご覧ください。 (https://www.pref.chiba.lg.jp/iryou/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html)
入学辞退	千葉県地域枠入試の出願要件は、「本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者」であり、合格者はいかなる理由があっても入学を辞退できません。
留意事項	千葉県地域枠入試により入学した場合、地域医療関連科目が必修となることにより、一般枠入試の入学者よりも卒業に必要な単位数が増えます。

9. 薬学部

薬学部は、「薬学科（6 年制：50 名）」と「薬科学科（4 年制：40 名）」で構成されています。

前期日程は、学科を決めずに一括募集し、学科への配属（薬学科 40 名、薬科学科 30 名）は、3 年次進級時に本人の希望・学業成績により決定します。一方、後期日程では、薬科学科（4 年制）のみで募集します。

なお、特別選抜の学校推薦型選抜については、薬学科（6 年制）のみで募集します。

※薬剤師国家試験の受験資格は、薬学科（6 年制）の卒業生に与えられます。

3. 出願資格

(1) 出願資格

令和7年1月実施の令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストで各学部・学科・課程・コース・分野が指定する教科・科目を受験した者で、大学入学資格を有するもの又は令和7年3月までに有する見込みのもの。

「大学入学資格を有するもの又は令和7年3月までに有する見込みのもの」の主な例は次のとおり。

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した（見込みの）者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した（見込みの）者
※特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した（見込みの）者が該当します。
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した（見込みの）者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した（見込みの）者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した（見込みの）者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した（見込みの）者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑧ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの
- ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月までに18歳に達するもの

※他の大学の認定をもって大学入学共通テストに出願した後、本学へ志望変更を行うため、⑨の個別の入学資格審査を受けようとする者は、学務部入試課入試係（TEL 043-290-2183）へ資格審査の申請方法等を確認の上、11月14日（木）までに本学へ資格審査の申請を行ってください。

(2) 出願要件（医学部医学科千葉県地域枠入試の志願者のみ）

医学部医学科の千葉県地域枠入試に出願できる者は、「(1) 出願資格」に加え、次の①～③の出願要件を全て満たす者としします。

- ① 本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者
- ② 出願時に千葉県医師修学資金の貸与申請を行い、修学資金を借り受ける者
- ③ 将来、医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に千葉県医師修学資金の貸付期間の1.5倍に相当する期間、従事しようとする強い意志がある者

(3) 出願の際の留意事項等

ア 一般選抜に出願する場合、国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）のうち、前期日程を実施する大学・学部から1つ、後期日程を実施する大学・学部から1つ出願することができます。国公立大学・学部の前期日程を複数出願したり、後期日程を複数出願したりすることはできません。

※独自日程で入学者選抜試験を行っている公立大学・学部については、公立大学協会のホームページを参照してください。（<https://www.kodaikyo.org/>）

イ 前期日程で本学の学部・学科等に出願し、後期日程も本学の学部・学科等に出願する（併願すること）は可能です。

なお、この場合、前期日程、後期日程とも、それぞれの出願書類を志望する学部・学科等に提出する必要があります（同一学部・同一学科等に出願する場合も含む）。

ウ 本学及びほかの国公立大学で実施する学校推薦型選抜、総合型選抜（園芸産業創発学プログラム選抜を含む）に合格した者は、当該大学の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学が行う一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

5. 入学者選抜

(1) 選抜方法等

ア 選抜方法

入学者の選抜は、令和7年度大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行います（過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません）。

合格者の決定は、総合得点により行います。

なお、同点者の順位決定については、文学部、法政経学部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及び薬学部においては、本学の個別学力検査等の得点が上位の者を優先します。

また、合否判定基準を別に定めている学部があります（次のイを参照）。

イ 合否判定基準

教育学部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及び看護学部においては、個別学力検査等の得点が当該学部・学科等受験者の平均点に満たない教科・科目等があった場合、不合格とすることがあります。

ウ 「2段階選抜」の実施及び第1段階選抜実施の発表

2段階選抜とは、各学部・学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目の成績（配点）の総得点により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行うものです。

本学では、第1段階選抜の予告倍率を掲げる以下の学部・学科において、志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合に2段階選抜を実施することがあります。ただし、予告倍率を緩和する場合もあります。

学部・学科			第1段階選抜の予告倍率	
			前期日程	後期日程
法政経学部	法政経学科		3.5 倍	13 倍
医学部	医学科	【一般枠入試】	3 倍	7 倍
		【千葉県地域枠入試】	3 倍	—

第1段階選抜の実施については、次の(ア)～(ウ)により発表します。

(ア) 第1段階選抜実施の有無の掲載日時 前期日程……令和7年2月12日（水）10時（予定）
後期日程……令和7年2月28日（金）13時（予定）

(イ) 第1段階選抜を実施した場合

実施した旨を(ア)の日時に千葉大学ホームページに掲載します。

個別に合格者の掲載はしません。合格者については、出願サイトから受験票の発行が可能となりますので、各自、受験票をダウンロードしてください。

なお、不合格者は、ダウンロードできません。

▶ 検定料の一部返還について

第1段階選抜の不合格者には、令和7年3月31日（月）17時までに本人が所定の返還手続を行った場合に、検定料の一部（13,000 円）を返還します。返還手続の詳細は、出願サイトの申し込み一覧画面から「検定料返還請求書」をダウンロードして確認してください。

(ウ) 第1段階選抜を実施しなかった場合

実施しなかった旨を(ア)の日時に千葉大学ホームページに掲載します。

この場合、第1段階選抜を実施しなかった学部・学科の志願者全員について、出願サイトから受験票の発行が可能となりますので、各自、受験票をダウンロードしてください。

学部・学科・課程・コース・分野		日程	パターン	大学入学共通テストの指定教科・科目																																
				国語		地理歴史						公民				数学①				数学②				理科				外国語				情報				
園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	前期 後期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	旧世 B	旧日 B	旧地 理B	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		旧倫 政経	数Ⅰ A		旧数 ⅠA	数Ⅱ BC		旧数 ⅡB					物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓	情報 Ⅰ	旧 情報
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		☐	1	1(注)												1		1		2				1				1								
		☐	☐	☐												☐		☐		☐				☐				☐								
備考				(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																																
園芸学部	食料資源経済学科	前期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	旧世 B	旧日 B	旧地 理B	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		旧倫 政経	数Ⅰ A		旧数 ⅠA	数Ⅱ BC		旧数 ⅡB				物基/化基/ 生基/地基 から2	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓	情報 Ⅰ	旧 情報
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
			☐	1	2(注1)												1		1		1(注2)				1				1							
			☐	☐	☐												☐		☐		☐				☐				☐							
		②	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	旧世 B	旧日 B	旧地 理B	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		旧倫 政経	数Ⅰ A		旧数 ⅠA	数Ⅱ BC		旧数 ⅡB				物基/化基/ 生基/地基 から2	物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓	情報 Ⅰ	旧 情報	
		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
		☐	1	1(注2)												1		1		2				1				1								
		☐	☐	☐												☐		☐		☐				☐				☐								
備考				指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。 理科の選択で基礎を付した科目を2科目受験し、基礎を付さない科目を1科目受験する場合において、同一名称を含む科目(例:「物理基礎」と「物理」等)を選択することができます。 (注1)地理歴史及び公民では、共通テストのルールとして選択できない出題科目の組み合わせがあるので注意してください。 (注2)地理歴史及び公民並びに理科において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																																
後期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	旧世 B	旧日 B	旧地 理B	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		旧倫 政経	数Ⅰ A		旧数 ⅠA	数Ⅱ BC		旧数 ⅡB					物	化	生	地学	英	独	仏	中	韓	情報 Ⅰ	旧 情報		
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		
	☐	1	1(注)												1		1		2				1				1									
備考				(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																																
医学部	医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】	前期 後期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	旧世 B	旧日 B	旧地 理B	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		旧倫 政経	数Ⅰ A		旧数 ⅠA	数Ⅱ BC		旧数 ⅡB				物	化	生		英	独	仏			情報 Ⅰ	旧 情報	
			☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
		☐	1	1(注)												1		1		2				1				1								
		☐	☐	☐												☐		☐		☐				☐				☐								
備考				(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目(その教科の試験時間中の前半で解答する科目)で指定する科目を受験してください。(第1解答科目の成績を合否判定に利用します。)																																

日程	学部	学科・課程・コース・分野	個別学力検査等（前期日程） の出題教科・科目等	特 記 事 項
前期	園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、28ページを参照のこと。
			理（物基・物、化基・化、生基・生から2）	理科は定規を使用する問題が出題されることがあるので、15cm程度の定規一本を持参すること。（直線定規のみ使用可。）
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、38～40ページを参照のこと。
		食料資源経済学科	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、28ページを参照のこと。
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、38～40ページを参照のこと。
		医学部	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、28ページを参照のこと。
			理（物基・物、化基・化、生基・生から2）	理科は定規を使用する問題が出題されることがあるので、15cm程度の定規一本を持参すること。（直線定規のみ使用可。）
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	
			面接	
	薬学部	薬学科 薬科学科 （一括募集）	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、28ページを参照のこと。
			理（化基・化） （物基・物、生基・生から1）	理科は定規を使用する問題が出題されることがあるので、15cm程度の定規一本を持参すること。（直線定規のみ使用可。）
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、38～40ページを参照のこと。
	看護学部	看護学科	理（物基・物、化基・化、生基・生から2）	理科は定規を使用する問題が出題されることがあるので、15cm程度の定規一本を持参すること。（直線定規のみ使用可。）
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、38～40ページを参照のこと。
			面接	

(3) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

(7) 前期日程

学部・学科・課程・コース・分野			試験の区分 及び教科・科目等			大 学 入 学 共 通 テ ス ト							個 別 学 力 検 査 等										合 計				
						国 語	地 理 ・ 歴 史	公 民	数 学		理 科		外 国 語	情 報	計	国 語	数 学	地 理 歴 史	理 科		専 門 適 性 検 査	外 国 語		面 接	そ の 他	計	
国際教養学部			国際教養学科			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	国語(300)又は理科(300)を選択 数学(300)又は地理歴史(300)選択					300				900	1,375	
文学部	人文学科	行動科学コース			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	200	150					200				550	1,025	
		歴史学コース			100	50	50	50	50	50		100	25	475	200		200				200				600	1,075	
		日本・ユーラシア文化コース			100	50	50	50	50	50		100	25	475	300		300				300				900	1,375	
		国際言語文化学コース			100	50	50	50	50	50		100	25	475	200		150				200				550	1,025	
法政経学部			法政経学科			100	50	50	50	50	50		100	25	475	300	300					300				900	1,375
教育学部	学校教育員養成課程	小学校コース			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	300					200	200			1,000	1,475	
		中学校コース	国語科教育分野			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	150				300	250			1,000	1,475	
			社会科教育分野			50	100	100	25	25	100		50	25	475	300	200				300	200			1,000	1,475	
			数学科教育分野			100	50		50	50	50	50	100	25	475		500		100	250	150			1,000	1,475		
			理科教育分野			100	50		50	50	50	50	100	25	475		200		200	200	200	200			1,000	1,475	
			技術科教育分野			100	50		50	50	50	50	100	25	475		200		150	500	150			1,000	1,475		
		小中専門教科コース	音楽科教育分野			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	150				200	150		500	1,000	1,475		
			図画工作・美術科教育分野			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	200				200	200		400	1,000	1,475		
			保健体育科教育分野			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	200				300	200		300	1,000	1,475		
			家庭科教育分野			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	200			250	250			1,000	1,475		
		英語教育コース			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300				200	300		200	1,000	1,475			
		特別支援教育コース			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	300				200	200			1,000	1,475		
		乳幼児教育コース			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	300				200	200			1,000	1,475		
		養護教諭コース			100	50		50	50	50	50	100	25	475				300			300	100	300	1,000	1,475		
理学部		数学・情報数理学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		600		150		150				900	1,375		
		物理学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		物理 300	化学 100		200				900	1,375	
		化学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		250		化学 300	物理 生物 地学 150		200				900	1,375	
		生物学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		150		生物 350	物理 化学 200		200				900	1,375	
		地球科学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		250		200	200		250				900	1,375	
工学部	総合工学科	建築学コース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		物理 200	化学 100		300				900	1,375	
		都市工学コース デザインコース 物質科学コース			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300				900	1,375	
		共生応用化学コース			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		化学 200	物理 100		300				900	1,375	
情報・データサイエンス学部			情報・データサイエンス学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		物理 200	化学 100		300				900	1,375
園芸学部		園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300				900	1,375	
		食料資源経済学科			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475		450					450				900	1,375	
医学部			医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300	100		1,000	1,475	
薬学部			薬学科, 薬科学科(一括募集)			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300			900	1,375	
看護学部			看護学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475				250	250		300	100		900	1,375	

※教育学部の「その他」については、次ページの注意事項を参照

※最後の検査が筆記試験の場合、回収後の答案確認に時間を要します。

学部・学科等		令和7年2月25日(火)									
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
理 学 部	数学・情報数理学科		理 科 9:50～ 10:40			数 学 12:10～15:10					
	物理学科 化学科 生物学科		理 科 ② 9:00～11:30			数 学 13:10～15:10			外国語 16:20～17:40		
	地球科学科		理 科 ② 9:50～11:30								
工 学 部	建築学コース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース 共生応用化学コース		理 科 ② 9:20～11:30			数 学 13:10～15:10			外国語 16:20～17:40		
	都市工学コース デザインコース 物質科学コース		理 科 ② 9:50～11:30								
情報・データ サイエンス学部	情報・データ サイエンス学科		理 科 ② 9:20～11:30			数 学 13:10～15:10			外国語 16:20～17:40		
園 芸 学 部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科		理 科 ② 9:50～11:30			数 学 13:10～15:10			外国語 16:20～17:40		
	食料資源経済学科					数 学 13:50～15:10					
医 学 部	医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】	面 接 (資料作成) 8:30～ 9:10		理 科 ② 9:50～11:30		数 学 13:10～15:10			外国語 16:10～17:30		
薬 学 部	薬学科 薬科学科 (一括募集)			理 科 ② 9:50～11:30		数 学 13:10～15:10			外国語 16:10～17:30		
看護学部	看護学科			理 科 ② 9:50～11:30			面 接 (資料作成) 13:30～ 14:10		外国語 16:10～17:30		

(注)時間割中の「理科②」は、理科2科目受験を表します。検査時間が100分の場合は、1科目50分相当の問題が出題されます。

なお、以下の学部・学科で想定している科目別の検査時間は次のとおりとなります。

理学部物理学科	物理100分相当，化学50分相当の問題を出題
理学部化学科	化学100分相当，その他の科目50分相当の問題を出題
理学部生物学科	生物100分相当，物理又は化学50分相当の問題を出題
工学部総合工学科 建築学コース，機械工学コース 医工学コース，電気電子工学コース	物理80分相当，化学50分相当の問題を出題
工学部総合工学科 共生応用化学コース	化学80分相当，物理50分相当の問題を出題
情報・データサイエンス学部 情報・データサイエンス学科	物理80分相当，化学50分相当の問題を出題

※最後の検査が筆記試験の場合、回収後の答案確認に時間を要します。
令和7年2月26日(水)

学部・学科等			令和7年2月26日(水)												
			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00			
教育学部	学校教育課程	小学校コース		面 接 9:00～											
		中学校コース	国語科，社会科，数学科，理科の各教育分野						専門適性検査 14:00～						
			技術科教育分野						専門適性検査 14:00～16:00						
		小中専門教科コース	音楽科教育，図画工作・美術科教育，保健体育科教育の各分野		実技・専門適性検査 9:00～										
			家庭科教育分野		専門適性検査 9:00～										
		英語教育コース		ライティング・専門適性検査 9:00～											
		特別支援教育コース		面 接 9:00～											
		乳幼児教育コース		専門適性検査 9:00～											
	養護教諭コース		面 接 9:00～												
	医 学 部	医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】		面 接 9:00～											
	看護学部	看護学科		面 接 9:30～											

(注)教育学部学校教育課程英語教育コースのライティングは検査時間50分で実施します。

7. 合格者発表等

(1) 合格者発表

入学者選抜の結果は、下記の日時に合格者の受験番号を千葉大学ホームページに掲載します。
学内の掲示板及び出願サイトでの発表は行いません。また、電話等による問い合わせには応じません。

▶ 千葉大学ホームページ <https://www.chiba-u.ac.jp>

前期日程	令和7年3月8日（土）13時（予定）～3月10日（月）17時
後期日程	令和7年3月20日（木・祝）13時（予定）～3月21日（金）17時

(2) 合格通知書及び関係書類の送付

合格者には、合格者発表後速やかに合格通知書及び関係書類を、出願サイトで登録した「住所・連絡先」あてにレターパック等で送付しますので、確実に受け取れるようにしてください。合格者であるにもかかわらず上記書類が届かない場合は、志望学部の担当係等へ問い合わせてください。

なお、合格通知書等の直接交付はしません。また、不合格者への通知は行いません。

(3) 追加合格

合格者のうち、3月15日（土）（前期日程入学手続締切日）及び3月27日（木）（後期日程入学手続締切日）までに入学手続を行わない者が出たことにより、募集人員（入学定員）に欠員が生じた場合は、3月28日（金）以降、追加合格を行うことがあります。

追加合格候補者には、当該学部から出願サイトで登録した本人の連絡先に電話をし、直接本人に入学の意思を確認します。

(注) 1 追加合格候補者は発表しません。また、追加合格者決定についての電話等による問い合わせには応じません。

2 追加合格候補者に入学の意思がある場合には、入学の意思を確認した際に入学手続の方法などをお知らせしますので、別途指定する期間内に入学手続を行ってください。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間・方法

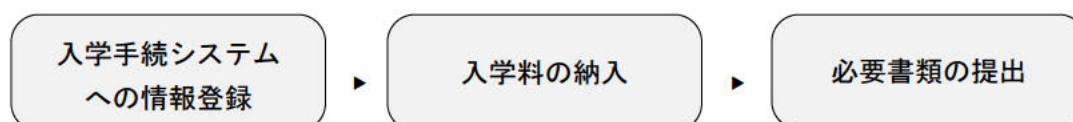
入学手続は、千葉大学ホームページ上の「入学手続システム」により行い、所定の期限までに必要書類の提出を済ませた場合に手続完了となります。詳細は、後日、千葉大学ホームページで公表する「入学手続ガイドブック」を確認してください。

なお、所定の期日までに入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

ア 入学手続方法

【入学手続システムによるオンライン手続】

【郵送等】



イ 入学手続システム稼働期間

前期日程	令和7年3月8日（土）15時～3月15日（土）15時
後期日程	令和7年3月20日（木・祝）15時～3月27日（木）15時

ウ 必要書類の提出期限

前期日程	令和7年3月15日（土）16時必着
後期日程	令和7年3月27日（木）16時必着

※郵送で提出できないやむを得ない事情がある場合は、必ず合格した学部の担当係等に事前連絡の上、その指示を仰いでください（連絡先は表紙裏の問い合わせ先を参照）。

- (注) 1 入学手続には、「令和7年度大学入学共通テスト受験票」の提出が必要となりますので、大切に保管しておいてください。
- 2 国公立大学の所定の入学手続を完了した者は、他の国公立大学において入学手続を行うことはできません。特に、本学の前期日程に合格し、上記期日までに入学手続を行った者は、後期日程を受験しても、その合格者とはなりませんので、注意してください。
- 3 追加合格者の入学手続については、追加合格を連絡する際に手続方法の詳細をお知らせします。

(2) 入学手続の際に納入する経費

入学手続の際には、次の経費が必要です。

学 部	入 学 料	学生教育研究災害傷害保険料 (学研災付帯賠償責任保険含む)	合 計
国際教養学部 文学部 法政経学部 教育学部 理学部 工学部（医工学コース以外） 情報・データサイエンス学部 園芸学部	282,000 円	4,660 円（4 年分）	286,660 円
工学部（医工学コース） 薬学部		4,730 円（4 年分）	286,730 円
看護学部		5,370 円（4 年分）	287,370 円
医学部		7,800 円（6 年分）	289,800 円

(注) 1 授業料については、入学年度の前期分授業料は5月（2年目以降は4月となります。）に、後期分授業料は10月に、それぞれ口座振替により納入願います。口座振替手続等の詳細は、入学手続関係サイトにて改めてお知らせします。

(https://www.chiba-u.ac.jp/students/entrance/entrance_procedures.html)

なお、前期分・後期分授業料は、それぞれ321,480円（年額642,960円）です。

2 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

3 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

4 入学料及び授業料が減免される制度があります。詳しくは、千葉大学ホームページ(<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>)をご覧ください。



5 学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料は、3月31日（月）までに納入願います。納入手続等の詳細は、合格通知書に同封の関係書類により改めてお知らせします。
※薬学部薬学科（6年制）へ所属することとなる学生については、5年次進級時に、残り2年分の学生教育研究災害傷害保険料の納入について連絡します。

※学生教育研究災害傷害保険について

正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。

なお、保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。詳しくは、千葉大学ホームページをご覧ください。



(https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html)

6 入学手続完了者が3月31日（月）17時までに入学を辞退した場合には、申し出により既に納入済の学生教育研究災害傷害保険料を返還します。

(3) 学生寮の入寮申請について

千葉大学の学生寮への入寮を希望される場合は、1月中旬に千葉大学ホームページに詳細を掲載する予定ですので、そちらをご覧ください。

(<https://www.chiba-u.ac.jp/students/facilities/dormitory.html>)

- ・園芸学部の学生対象：浩気寮（2月中旬受付締切予定）
- ・医学部・薬学部・看護学部の男子学生対象：雄翔寮（合格後、個別に担当窓口にご相談ください）



令和 8 年度

入学者選抜要項

令和 7 年 7 月

千葉大学



CHIBA UNIVERSITY

1. 入学者選抜日程の概要

※日程については変更することがありますので、必ず募集要項等で確認してください。

試験	日程	受験案内発表	出願期間	実施期日
大学入学共通テスト		大学入試センター ウェブサイトにて公開	9月16日(火)～10月3日(金)	1月17日(土)～18日(日) 同試験利用大学で実施

(1) 一般選抜

選抜	日程	要項発表	出願期間	選抜期日	合格者発表等	入学手続 締切日
一般選抜 (前期日程)	国際教養学部	10月下旬	1月26日(月) ～2月4日(水)	国際教養学部, 文学部, 法政経学部, 理学部, 工学部, 情報・データサイ エンス学部, 園芸学部, 薬学部 2月25日(水)	第1段階選抜 実施結果発表 2月10日(火)	3月15日(日)
	文学部					
	法政経学部					
	教育学部					
	理学部					
	工学部					
	情報・データ サイエンス学部					
	園芸学部					
	医学部					
	薬学部					
一般選抜 (後期日程)	看護学部	10月下旬	1月26日(月) ～2月4日(水)	教育学部, 医学部, 看護学部 2月25日(水), 26日(木)	合格者発表 3月7日(土)	
	文学部					
	法政経学部					
	理学部					
	工学部					
	園芸学部					
	医学部					
	薬学部	10月下旬	1月26日(月) ～2月4日(水)	文学部, 法政経学部, 理学部, 工学部, 園芸学部, 薬学部 3月12日(木)	第1段階選抜 実施結果発表 2月27日(金)	3月27日(金)
	医学部					
	薬学部					
	看護学部					
	文学部					
	法政経学部					
	理学部					
	工学部	10月下旬	1月26日(月) ～2月4日(水)	医学部 3月12日(木), 13日(金)	合格者発表 3月20日(金)	
	園芸学部					
	医学部					
	薬学部					
	看護学部					
	文学部					
	法政経学部					

(2) 特別選抜

日程				要項発表	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続 締切日
選抜								
総合型選抜	国際教養学部			7月下旬	9月 8日(月) ～10日(水)	10月25日(土) ～26日(日)	合格内定者：11月21日(金) 最終合格者： 2月10日(火)	2月18日(水)
	文学部			7月下旬	10月 1日(水) ～ 3日(金)	11月15日(土)	合格内定者：12月12日(金) 最終合格者： 2月10日(火)	2月18日(水)
	法政経学部			7月下旬	10月20日(月) ～22日(水)	11月15日(土)	合格内定者：12月17日(水) 最終合格者： 2月10日(火)	2月18日(水)
	教育学部	方式Ⅰ		6月下旬	9月 1日(月) ～ 3日(水)	9月27日(土) ～28日(日)	合格内定者：11月 4日(火) 最終合格者： 2月10日(火)	2月18日(水)
		方式Ⅱ				9月27日(土)	11月 4日(火)	
	理学部			7月下旬	9月18日(木) ～25日(木)	9月29日(月) ～10月 8日(水) 11月15日(土)	第1次選抜合格者：10月17日(金) 第2次選抜合格者：11月15日(土) 最終合格者：12月 5日(金)	2月18日(水)
	工学部 総合 工学科	デザインコース		6月下旬	9月22日(月) ～26日(金)	10月18日(土) ～19日(日)	第1次選抜合格者：10月19日(日) 第2次選抜合格者：11月14日(金) 最終合格者： 2月10日(火)	2月18日(水)
		物質 科学 コース	方式Ⅰ			10月18日(土) 10月19日(日)	第1次選抜合格者：10月19日(日) 最終合格者：11月14日(金)	
			方式Ⅱ			10月19日(日)	11月14日(金)	
						園芸学部		

日程 選抜		要項発表	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続 締切日	
学校推薦型 選抜	文学部	7月中旬	11月 4日(火) ～ 6日(木)	11月15日(土) ～16日(日)	12月12日(金)	2月18日(水)	
	情報・データ サイエンス学部	7月中旬	11月 4日(火) ～ 6日(木)	11月23日(日) 又は24日(月・祝)	合格内定者:12月 5日(金) 最終合格者: 2月10日(火)	2月18日(水)	
	医学部 千葉県地域枠入試	7月中旬	11月 1日(土) ～ 5日(水)	第1次選抜:11月30日(日) 第2次選抜:12月21日(日)	第1次選抜合格者:12月 9日(火) 最終合格者: 2月10日(火)	2月18日(水)	
	薬学部	7月中旬	11月 4日(火) ～ 5日(水)	11月15日(土)	2月10日(火)	2月18日(水)	
	看護学部	7月中旬	11月 4日(火) ～ 5日(水)	11月15日(土)	合格内定者:12月 3日(水) 最終合格者: 2月10日(火)	2月18日(水)	
園芸産業創発学 プログラム選抜		園芸学部	7月中旬	10月24日(金) ～31日(金)	11月 8日(土) ～ 9日(日)	合格内定者:11月28日(金) 最終合格者: 2月10日(火)	2月18日(水)
社会人 選抜	文学部	7月中旬	10月 1日(水) ～ 3日(金)	11月15日(土)	12月12日(金)	3月15日(日)	
	看護学部	7月中旬	10月20日(月) ～22日(水)	11月15日(土)	12月 3日(水)	2月18日(水)	
先進科学プログラム (飛び入学)学生選抜		方式Ⅰ	7月下旬	11月10日(月) ～17日(月)	12月20日(土) ～21日(日)	課題論述型選抜 第1次判定合格者: 12月20日(土) 第2次判定合格者: 12月21日(日)	2月18日(水)
						研究活動発表型選抜 第1次判定合格者: 12月21日(日)	
						最終合格者: 1月13日(火)	
		方式Ⅱ	1月26日(月) ～2月 4日(水)	2月25日(水) 3月14日(土)	第1次判定合格者: 3月 7日(土) 最終合格者: 3月20日(金)	3月27日(金)	
方式Ⅲ	1月26日(月) ～2月 4日(水)	3月14日(土)	3月20日(金)	3月27日(金)			
		総合型選抜 方式	6月下旬	9月22日(月) ～26日(金)	10月18日(土) ～19日(日) 2月25日(水)	第1次選抜合格者: 10月19日(日) 第2次選抜合格者: 11月14日(金) 最終合格者: 3月 7日(土)	3月15日(日)
私費外国 人留 学 生 選 抜	文学部	7月中旬	11月 4日(火) ～ 6日(木)	11月29日(土)	12月12日(金)	2月18日(水)	
	法政経学部	7月中旬	10月20日(月) ～22日(水)	11月15日(土)	12月17日(水)	2月18日(水)	
	教育学部	11月上旬	1月26日(月) ～28日(水)	2月24日(火), 25日(水), 26日(木) のいずれか (コースにより異なる)	3月 7日(土)	3月15日(日)	
	理学部	7月下旬	10月 9日(木) ～16日(木)	11月15日(土)	12月 5日(金)	2月18日(水)	
	工学部	6月下旬	9月22日(月) ～26日(金)	10月18日(土)	11月14日(金)	2月18日(水)	
	情報・データ サイエンス学部	6月下旬	9月22日(月) ～26日(金)	10月18日(土)	11月14日(金)	2月18日(水)	
	園芸学部	6月中旬	10月24日(金) ～31日(金)	11月 8日(土)	12月 5日(金)	2月18日(水)	
	医学部	11月	1月26日(月) ～28日(水)	2月25日(水) ～26日(木)	3月 7日(土)	3月15日(日)	
	薬学部	11月	1月26日(月) ～28日(水)	2月25日(水) ～26日(木)	3月 7日(土)	3月15日(日)	
	看護学部	7月中旬	10月20日(月) ～22日(水)	11月15日(土)	12月 3日(水)	2月18日(水)	

千葉大学の出願は、インターネット出願による手続となります。
インターネット出願サイトのオープン期間は選抜により異なりますので、詳細は各種選抜の募集要項をご確認ください。

2. 募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	募 集 人 員					
			一 般 選 抜		特 別 選 抜			
			前期日程	後期日程	総合型 選抜	学校推薦型 選抜	園芸産業 創発学 プログラム 選抜	社会人 選抜
国際教養学部	国際教養学科	90	83	－	7	－	－	－
文学部	人文学科 ^{※1}	170	125	18	3	24	－	若干名
法政経学部	法政経学科 ^{※1}	360	290	65	5	－	－	－
教育学部	学校教員養成課程 ^{※1}	380	282	－	98	－	－	－
理学部	数学・情報数理学科	44	29	15	－	－	－	－
	物理学科	39	23	12	4	－	－	－
	化学科	39	31	8	－	－	－	－
	生物学科	39	29	10	－	－	－	－
	地球科学科	39	30	5	4	－	－	－
	計	200	142	50	8	－	－	－
工学部	総合工学科 ^{※1}	540	407	104	29	－	－	－
情報・データ サイエンス学部	情報・データ サイエンス学科	100	70	－	－	30	－	－
園芸学部	園芸学科	64	44	9	5	－	6	－
	応用生命化学科	31	20	7	4	－	－	－
	緑地環境学科	66	46	11	9	－	－	－
	食料資源経済学科	29	23	2	－	－	4	－
	計	190	133	29	18	－	10	－
医学部	医学科 ^{※2}	100	83	15	－	2	－	－
薬学部	薬学科	(50)	90	70	－	10	－	－
	薬科学科	(40)		10		－		
看護学部	看護学科	80	49	－	－	24	－	7
合 計		2,300	1,734	291	168	90	10	7

※1 詳細は、5～7ページを参照してください。

※2 医学部医学科の募集人員には、千葉県地域枠入試の募集人員を含みます。また、国及び千葉県の医師確保対策の計画等により、増員される可能性があります。詳細は、8ページを参照してください。

上記の他に、下記の先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜の募集があります。

方式		募 集 分 野 / 学 部 ・ 学 科 （ コ ー ス ）		募集人員
方式Ⅰ	課題論述型 選抜	物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
		工学関連分野	工学部：総合工学科（物質科学コース）	
		情報・データサイエンス 関連分野	情報・データサイエンス学部：情報・データサイエンス学科	
	研究活動 発表型選抜	工学関連分野	工学部：総合工学科（物質科学コース）	
方式Ⅱ		物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
		化学関連分野	理学部：化学科	
		生物学関連分野	理学部：生物学科	
		工学関連分野	工学部：総合工学科（建築学コース，都市工学コース，機械工学コース，医工学コース，電気電子工学コース，物質科学コース，共生応用化学コース）	
		情報・データサイエンス 関連分野	情報・データサイエンス学部：情報・データサイエンス学科	
		植物生命科学関連分野	園芸学部：応用生命化学科	
		人間科学関連分野	文学部：人文学科（行動科学コース）	
方式Ⅲ		物理学関連分野	理学部：物理学科	若干名
		工学関連分野	工学部：総合工学科（物質科学コース）	
総合型選抜 方式		工学関連分野	工学部：総合工学科（デザインコース）	若干名

8. 医学部

医学部における募集人員は次のとおりです。

学科	入試枠	前期日程	後期日程	学校推薦型選抜
医学科	一般枠入試	80 名	15 名	—
	千葉県地域枠入試	3 名	—	2 名

※募集人員については、国及び千葉県の医師確保対策の計画等により、増員される可能性があります。

【千葉県地域枠入試及び千葉県医師修学資金貸付制度について】

目的	医学部医学科の千葉県地域枠入試は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、千葉県と連携し、将来の千葉県内の地域医療を担う者を育成することを目的としています。千葉県地域枠入試に合格し、本学で修学する者には、千葉県が運営する千葉県医師修学資金貸付制度による修学資金を貸付けます。
制度概要	※以下は予定であり、変更となる場合があります。 ・修学資金の貸付額 月額 15 万円（6 年間合計 1,080 万円） ・修学資金の貸与期間 令和 8 年 4 月から正規の修学期間を修了する月まで ・修学資金の返還 次のいずれかに該当する事由が生じたときは、当該事由が生じた日の属する月の翌月の末日までに、借り受けた修学資金に利息を付した額を一括で返還しなければなりません。 ア 貸付期間が満了したとき。（返還免除要件を満たす見込みである場合は除く。） イ 修学資金の貸付けの決定が取り消されたとき。 ウ 千葉県知事が定める病院での勤務による返還の免除を受ける前に、死亡したとき。 エ 千葉県知事が定める病院での勤務による返還の免除を受けることができないと確定したとき。 ・修学資金の返還免除 大学を卒業した日の属する月の翌月の初日から起算して 1 年 3 か月以内に医師の免許を取得し、千葉県が指定する期間内に修学資金の貸付期間の 1.5 倍に相当する期間、所定の医療機関に勤務したとき、修学資金の返還を免除します。 また、修学資金の借受人が死亡し、又は災害、病気その他やむを得ない事由により、修学資金の返還ができなくなったときは、修学資金の返還及びその利息の支払の債務の全部又は一部を免除することがあります。
入学辞退	千葉県地域枠入試の出願要件は、「本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者」であり、合格者はいかなる理由があっても入学を辞退できません。
留意事項	千葉県地域枠入試により入学した場合は、地域医療関連科目が必修となることにより、一般枠入試の入学者よりも卒業に必要な単位数が増えます。

9. 薬学部

薬学部は、薬学科（6 年制：50 名）と薬科学科（4 年制：40 名）で構成されています。

前期日程については、学科を決めずに一括募集し、学科への配属（薬学科 40 名、薬科学科 30 名）は 3 年次進級時に本人の希望・学業成績により決定します。

後期日程については、薬科学科（4 年制）のみで募集します。

学校推薦型選抜については、薬学科（6 年制）のみで募集します。

※薬剤師国家試験の受験資格は、薬学科（6 年制）の卒業生に与えられます。

3. 一般選抜

(1) 出 願

ア 出願資格

令和8年1月実施の令和8年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストで各学部・学科・課程・コース・分野が指定する教科・科目を受験した者で、大学入学資格を有するもの又は令和8年3月までに有する見込みのもの

(注) 「大学入学資格を有する（令和8年3月までに有する見込みのもの）」の主な例は、次のとおりです。

なお、9.の個別の入学資格審査を受けようとする者は、学務部入試課入試係（TEL 043-290-2183）へ資格審査の申請方法等を確認のうえ、9月1日（月）までに本学へ資格審査の申請を行ってください。

1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した（見込みの）者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した（見込みの）者
※特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した（見込みの）者が該当します。
3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した（見込みの）者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した（見込みの）者
5. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した（見込みの）者
6. 文部科学大臣の指定した者
7. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した（見込みの）者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
8. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの
9. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月までに18歳に達するもの

イ 出願要件（医学部医学科千葉県地域枠入試の志願者のみ）

医学部医学科の千葉県地域枠入試に出願できる者は、「ア 出願資格」に加え、次の①～③の出願要件を全て満たす者とします。

- ① 本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者
- ② 出願時に千葉県医師修学資金の貸与申請を行い、修学資金を借り受ける者
- ③ 将来、医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に千葉県医師修学資金の貸付期間の1.5倍に相当する期間、従事しようとする強い意志がある者

ウ 出願の際の留意事項等

- ① 一般選抜に出願する場合、国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）のうち、前期日程を実施する大学・学部から1つ、後期日程を実施する大学・学部から1つ出願することができます。国公立大学・学部の前期日程を複数出願したり、後期日程を複数出願したりすることはできません。
※独自日程で入学者選抜試験を行っている公立大学・学部については、公立大学協会のホームページを参照してください。（<https://www.kodaikyo.org/>）
- ② 本学及びほかの国公立大学で実施する学校推薦型選抜、総合型選抜（園芸産業創発学プログラム選抜を含む）に合格した者は、当該大学の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学が行う一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- ③ 一般選抜の可否及び入学手続等に関する個人情報は、大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供され、国公立大学の分離分割方式の合格者の決定を行うための情報として利用されます。
- ④ 入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

(2) 入学者選抜

ア 選抜方法等

(7) 選抜方法

入学者の選抜は、令和8年度大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行います。(過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。)

合格者の決定は、総合得点により行います。

なお、同点者の順位決定については、文学部、法政経学部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及び薬学部においては、本学の個別学力検査等の得点が上位の者を優先します。

また、合否判定基準を別に定めている学部があります。(ウ)合否判定基準を参照)

(4) 2段階選抜の実施

2段階選抜とは、各学部・学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目の成績の総得点により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行うものです。(配点については30ページ参照)

本学では、第1段階選抜の予告倍率を掲げる以下の学部・学科において、志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合に2段階選抜を実施することがあります。ただし、予告倍率を緩和する場合もあります。

学 部 ・ 学 科			第1段階選抜の予告倍率	
			前期日程	後期日程
法政経学部	法政経学科		3.5 倍	13 倍
医学部	医学科	【一般枠入試】	3 倍	7 倍
		【千葉県地域枠入試】	3 倍	—

(ウ) 合否判定基準

教育学部、工学部、情報・データサイエンス学部、医学部及び看護学部においては、個別学力検査等の得点が当該学部・学科等受験者の平均点に満たない教科・科目等があった場合、不合格とすることがあります。

イ 実施教科・科目等

(7) 大学入学共通テストの指定教科・科目等

大学入学共通テストの指定教科・科目等は12～17ページの表のとおりです。各学部・学科・課程・コース・分野が指定する教科・科目等を受験していない場合は、本学の個別学力検査等を受験できません。

(注) 1. 大学入学共通テストの各学部・学科・課程・コース・分野が指定する教科・科目において、複数の受験パターンが認められている場合は、いずれかの受験パターンを満たしていれば本学の個別学力検査等を受験できます。

なお、複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となる受験パターンで選考を行います。

2. 大学入学共通テストの地理歴史及び公民並びに理科において、各学部・学科・課程・コース・分野の指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

なお、第1解答科目で指定する科目を受験せず、第2解答科目で指定する科目を受験している場合、失格にはなりませんが、その科目の成績は0点として扱いますので注意してください。

3. 大学入学共通テストのリスニングは「英語」の一領域です。大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を受験してください。(大学入学共通テストにおいてリスニングを免除された者を除く。)

学部・学科・課程・コース・分野		日程	パターン	大学入学共通テストの指定教科・科目																				
				国語	地理歴史				公民		数 学 ①		数 学 ②	理科				外国語				情報		
医学部	医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】	前期 後期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏		情報Ⅰ	
				1	1(注)					1	1	2			1			1						
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				
薬学部	薬学科 薬科学科 (一括募集)	前期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ
				1	1(注)					1	1	2			1			1						
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				
	薬科学科	後期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ
				1	1(注)					1	1	2			1			1						
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				
看護学部	看護学科	前期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ
				1	1(注)					1	1	2			1			1						
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				

(前期日程)

配点については30ページを参照

日程	学部	学科・課程・コース・分野	個別学力検査等（前期日程） の出題教科・科目等	特 記 事 項
前期	園芸学部	園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、18ページを参照のこと。
			理（物基・物，化基・化，生基・生から2）	
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、27～29ページを参照のこと。
		食料資源経済学科	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、18ページを参照のこと。
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、27～29ページを参照のこと。
	医学部	医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、18ページを参照のこと。
			理（物基・物，化基・化，生基・生から2）	
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	
			面接	
	薬学部	薬学科 薬科学科 （一括募集）	数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）	数学の出題範囲については、18ページを参照のこと。
			理（化基・化） （物基・物，生基・生から1）	
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、27～29ページを参照のこと。
	看護学部	看護学科	理（物基・物，化基・化，生基・生から2）	
			外（英CⅠ・英CⅡ・英CⅢ）	本学部が定める外国語検定試験で一定の成績を修めた場合、成績に応じて所定の点数を加点する。詳細については、27～29ページを参照のこと。
			面接	

ウ 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

(7) 前期日程

学部・ 学科・課程・ コース・分野			試験の区分 及び教科 ・科目等										大学入学共通テスト(教科・科目等はp.12～17参照)										個別学力検査等(教科・科目等はp.18～24参照)										合 計
			国 語	地 理 ・ 歴 史	公 民	数 学		理 科		外 国 語	情 報	計	国 語	数 学	地 理 歴 史	理 科	専 門 適 性 検 査	外 国 語	面 接	そ の 他	計												
国際教養学部 国際教養学科			100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	国語(300)又は理科(300)を選択 数学(300)又は地理歴史(300)選択					300				900	1,375										
文 学 部	人 文 学 科	行動科学コース	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	200	150				200				550	1,025										
		歴史学コース	100	50	50	50	50	50		100	25	475	200		200			200				600	1,075										
		日本・ユーラシア文化コース	100	50	50	50	50	50		100	25	475	300		300			300				900	1,375										
		国際言語文化学コース	100	50	50	50	50	50		100	25	475	200		150			200				550	1,025										
法政経学部 法政経学科			100	50	50	50	50	50		100	25	475	300	300				300				900	1,375										
教 育 学 部	学 校 教 員 養 成 課 程	小学校コース	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	300				200	200			1,000	1,475										
		中 学 校 コ ー ス	国語科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	150			300	250				1,000	1,475									
			社会科教育分野	50	100	100	25	25	100		50	25	475	300	200			300	200				1,000	1,475									
			数学科教育分野	100	50		50	50	50	50	100	25	475		500		100	250	150				1,000	1,475									
			理科教育分野	100	50		50	50	50	50	100	25	475		200		200	200	200				1,000	1,475									
			技術科教育分野	100	50		50	50	50	50	100	25	475		200		150	500	150				1,000	1,475									
		小 中 専 門 教 科 コ ー ス	音楽科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	150				200	150		500	1,000	1,475										
			図画工作・美術科 教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	200				300	200		300	1,000	1,475										
			保健体育科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	200				300	200		300	1,000	1,475										
			家庭科教育分野	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	200			250	250			1,000	1,475										
		英語教育コース	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300				200	300		200	1,000	1,475											
		特別支援教育コース	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	300				200	200			1,000	1,475										
		乳幼児教育コース	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475	300	300			200	200				1,000	1,475										
		養護教諭コース	100	50		50	50	50	50	100	25	475				300		300	100	300	1,000	1,475											
理 学 部		数学・情報数理学科	100	50		50	50	50	50	100	25	475		600		150		150				900	1,375										
		物理学科	100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		物理 300	化学 100		200			900	1,375										
		化学科	100	50		50	50	50	50	100	25	475		250		化学 300	物理 生物 地学 150		200			900	1,375										
		生物学科	100	50		50	50	50	50	100	25	475		150		生物 350	物理 化学 200		200			900	1,375										
		地球科学科	100	50		50	50	50	50	100	25	475		250		200	200		250			900	1,375										
工 学 部	総 合 工 学 科	建築学コース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース	100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		物理 200	化学 100		300			900	1,375										
		都市工学コース デザインコース 物質科学コース	100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300			900	1,375										
		共生応用化学コース	100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		化学 200	物理 100		300			900	1,375										
情報・データサイエンス学部 情報・データサイエンス学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		物理 200	化学 100		300			900	1,375										
園 芸 学 部		園芸学科 応用生命化学科 緑地環境学科	100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300			900	1,375										
		食料資源経済学科	100	50	*50	50	50	50	*50	100	25	475		450				450				900	1,375										
医 学 部 医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300	100		1,000	1,475										
薬 学 部 薬学科, 薬科学科(一括募集)			100	50		50	50	50	50	100	25	475		300		150	150		300			900	1,375										
看護学部 看護学科			100	50		50	50	50	50	100	25	475				250	250		300	100		900	1,375										

※教育学部の「その他」については、次ページの注意事項を参照

(3)

(学校推薦型選抜)

実施学部・ 学科及び 募集人員	医学部 医学科（千葉県地域枠入試） 2名 ※国及び千葉県の医師確保対策の計画等により、増員される可能性があります。				
出願資格等	次の①～④のすべての要件を満たす者 ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和8年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。） ② 調査書の学習成績概評がA段階の者 ③ 出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦できる者 ※推薦は、1高等学校につき最大2名までとする。 ④ 令和8年1月実施の令和8年度大学入学共通テストで指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者				
出願要件	① 本学に本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者 ② 出願時に千葉県医師修学資金の貸与申請を行い、修学資金を借り受ける者 ③ 将来、医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に千葉県医師修学資金の貸付期間の1.5倍に相当する期間、従事しようとする強い意志がある者				
選抜方法等	① 出願時に提出された書類（調査書、推薦書、自己アピール資料）並びに小論文及び面接により、第1次選抜合格者を決定します。 ② 第1次選抜合格者に対して、面接により第2次選抜を行います。 ③ 最終合格者は、第1次選抜の結果、第2次選抜の得点及び令和8年度大学入学共通テストの成績を総合判定のうえ決定します。 なお、第2次選抜における得点が受験者平均点以下の者は、最終合格者とはならない場合があります。 また、次に該当する者は、最終合格者とはなりません。 <table border="1"> <tr> <td>一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施した場合</td><td>大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績（配点）の総得点が、同年度の一般選抜(前期日程)「一般枠入試」受験対象者の平均点を下回った者</td></tr> <tr> <td>一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施しない場合</td><td>総得点が概ね80%に到達しなかった者</td></tr> </table>	一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施した場合	大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績（配点）の総得点が、同年度の一般選抜(前期日程)「一般枠入試」受験対象者の平均点を下回った者	一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施しない場合	総得点が概ね80%に到達しなかった者
一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施した場合	大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績（配点）の総得点が、同年度の一般選抜(前期日程)「一般枠入試」受験対象者の平均点を下回った者				
一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施しない場合	総得点が概ね80%に到達しなかった者				

(次項に続く)

(前項から続く)

選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの指定教科・科目				
	指定教科・科目		指定科目数	配点	
	国 語	「国語」	1 科目	200	950
	地理歴史 公 民	「地理総合，地理探究」，「歴史総合， 日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」， 「地理総合／歴史総合／公共」から2， 「公共，倫理」，「公共，政治・経済」	1 科目	100	
	数 学	「数学Ⅰ，数学A」，	1 科目	100	
		「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1 科目	100	
	理 科	「物理」，「化学」，「生物」	2 科目	200	
	外 国 語	「英語（リーディング＋リスニング）」， 「ドイツ語」，「フランス語」	1 科目	200	
	情 報	「情報Ⅰ」	1 科目	50	
	※ 「英語」はリーディング（配点 160 点）とリスニング（配点 40 点）に換算し， 合計 200 点満点とします。 地理歴史及び公民において，2 科目受験している場合は，第 1 解答科目の成績を 利用します。				
出 願 期 間	令和 7 年 11 月 1 日（土）～ 11 月 5 日（水）				
選 抜 期 日	第 1 次選抜：令和 7 年 11 月 30 日（日） 第 2 次選抜：令和 7 年 12 月 21 日（日）				
合 格 者 発 表	令和 8 年 2 月 10 日（火）〔合格内定者の発表：令和 7 年 12 月 9 日（火）〕				
そ の 他	・第 1 次選抜では千葉県の地域医療への関心と意欲，人間性，学習意欲等を総合的に評価します。 ・第 2 次選抜ではグループ面接を行い，医師としての適性と問題解決能力，倫理観や使命感等を総合的に評価します。				

学部・学科・課程・コース・分野		日程	パターン	大学入学共通テストの指定教科・科目																				
				国語	地理歴史				公民		数 学 ①		数 学 ②	理科				外国語				情報		
医学部	医学科 【一般枠入試】 【千葉県地域枠入試】	前期 後期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏		情報Ⅰ	
				1	1(注)					1	1	2				1			1					
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				
薬学部	薬学科 薬科学科 (一括募集)	前期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ
				1	1(注)					1	1	2				1			1					
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				
	薬科学科	後期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ
				1	1(注)					1	1	2				1			1					
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				
看護学部	看護学科	前期	①	国語	地総 地探	歴総 日探	歴総 世探	地理総合/ 歴史総合/ 公共から2	公共 倫理	公共 政経		数ⅠA	数ⅡBC		物	化	生		英	独	仏	中	韓	情報Ⅰ
				1	1(注)					1	1	2				1			1					
			備考	(注)地理歴史及び公民において、指定する科目数が1科目のところを2科目受験する場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。																				

令和8年度（2026年度）

千葉大学医学部

医学科（千葉県地域枠入試）

学校推薦型選抜 学生募集要項

令和7年（2025年）7月

「学校推薦型選抜学生募集要項」には、出願から入学手続までの諸手続を記載してあります。

こちらの募集要項をよく読み、特に出願に際しては、出願資格や出願書類等に不備のないよう、手続を行ってください。

出願は「インターネット出願」です。

インターネット出願の詳細については、千葉大学ホームページ（入試案内ページ）に掲載する『出願サイト（ガイダンスサイト）』を参照してください。

※千葉大学ホームページ（入試案内ページ） ▶ <https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/index.html>

出願期間や出願方法等の詳細については、「6. 出願手続等（4～8 ページ）」を確認してください。

出願書類の提出及び出願に際しての問い合わせは、医学部学務係で受け付けます。

なお、問い合わせは、月曜日から金曜日（祝日を除く。）の 9時から12時、13時から17時までとし、原則として志願者本人から行ってください。

■ 出願書類の提出・問い合わせ先

学部	担当部署	電話番号	住所
医学部	亥鼻地区事務部学務課 医学部学務係	043-226-2008	〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号

医学部入学者受入れの方針

1 千葉大学医学部の求める入学者

千葉大学医学部では、次に掲げる目標を卒業時に達成するための教育を行っています。

1. 医学的知識・技能を理論と根拠に基づいて応用し、適切な判断と医療が実践でき、生涯にわたり自らの能力を向上させることができる
2. 医療制度を適切に活用し、社会および医療チームの中で医師としての役割を果たし、患者中心の医療を実践できる
3. 科学的情報を批判的に吟味し、新しい発見と創造のための論理的思考と研究を行える

千葉大学医学部は、千葉大学の『つねに、より高きものをめざして』の理念のもと、基礎学力があり、健康で多様性に富んだ次のような資質・能力を兼ね備えた人の入学を求めています。

1. 創造性に溢れた論理的な思考のできる人
2. 高い倫理観と強い使命感を持つ人
3. 世のため人のために誠心誠意尽くすことのできる人
4. 将来の日本および世界の医学をリードするような高い志を有する人

2 入学者選抜の基本方針

千葉大学医学部では本学部の教育理念・目標に合致した学生を選抜するため以下のとおり入学者選抜を実施します。

学校推薦型選抜（地域枠）

選抜の方法： 高校での学業成績が優秀で、学校長から推薦のあったものに対して、調査書、推薦書、自己アピール資料、小論文及び面接により総合的に評価します。また、大学入学共通テストの成績（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報）を利用します。

選抜の趣旨： 調査書、推薦書及び大学入学共通テストで基礎学力を幅広く評価します。自己アピール資料、小論文及び面接で倫理観や使命感、問題解決能力、学習意欲、向上心を評価するとともに、千葉県の地域医療への関心と意欲を評価します。

3 入学までに身に付けて欲しいこと

医学部では、広範囲で多様な学問分野、基礎医学、社会医学、臨床医学を学修します。将来、国内外の様々な医学関連分野で活躍するために必要な基礎学力と医学への高い関心、倫理観、そして広く社会に目を向ける姿勢を身に付けておくことを望みます。

なお、「千葉大学入学者受入れの方針」の詳細については、本学ホームページ

(<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/adpolicy.html>) をご覧ください。

—千葉県地域枠 学校推薦型選抜制度について—

医学部医学科の地域枠入試は、医療の重要な要素である地域医療を推進するため、千葉県等と連携し、将来の千葉県内の地域医療を推進する者を育成することを目的としています。

学校推薦型選抜では、出身学校長からの提出書類、小論文、面接及び大学入学共通テストにより、将来の千葉県内の地域医療・保健・福祉の推進にリーダーとして貢献することが期待できる人物を選抜し、総合判定のうえ入学させる制度を実施しています。面接では、本学で学ぶ目的、医学・地域医療への志向性、自らの考えや意見を的確に説明できる表現力、柔軟な思考力、コミュニケーション能力などを評価します。

1. 募集人員

学 科	募集人員
医学科	2 名

※国及び千葉県の医師確保対策の計画等により、増員される可能性があります。

2. 推薦者数

1 高等学校につき最大 2 名までとします。

3. 出願資格

次の(1)～(4)のすべての要件を満たす者

- (1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和 8 年（2026 年）3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき令和 7 年（2025 年）度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）
- (2) 調査書の学習成績概評が A 段階の者
- (3) 出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦できる者
- (4) 令和 8 年（2026 年）1 月実施の令和 8 年（2026 年）度大学入学共通テストで指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者

4. 出願要件

出願資格に加え、次の(1)～(3)のすべての要件を満たす者

- (1) 本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者
- (2) 出願時に千葉県医師修学資金の貸与申請を行い、入学後に修学資金を借り受ける者
- (3) 将来、医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に千葉県医師修学資金の貸付期間の 1.5 倍に相当する期間、従事しようとする強い意志がある者

【千葉県医師修学資金貸付制度について】

目的	千葉県地域枠入試に合格し、本学に修学する者には、千葉県で運営する千葉県医師修学資金貸付制度による修学資金を貸付けます。
制度概要	※ 以下は予定であり、変更となる場合があります。 •修学資金の貸付額 月額 15 万円（6 年間合計 1,080 万円） •修学資金の貸与期間 令和 8 年 4 月から正規の修学期間を修了する月まで •修学資金の返還 次のいずれかに該当する事由が生じたときは、当該事由が生じた日の属する月の翌月の末日までに、借り受けた修学資金に利息を付した額を一括で返還しなければなりません。 ア 貸付期間が満了したとき。（返還免除要件を満たす見込みである場合は除く。） イ 修学資金の貸付けの決定が取り消されたとき。 ウ 千葉県知事が定める病院での勤務による返還の免除を受ける前に、死亡したとき。 エ 千葉県知事が定める病院での勤務による返還の免除を受けることができないと確定したとき。 •修学資金の返還免除 大学を卒業した日の属する月の翌月の初日から起算して 1 年 3 か月以内に医師の免許を取得し、千葉県が指定する期間内に修学資金の貸付期間の 1.5 倍に相当する期間、所定の医療機関に勤務したとき、修学資金の返還を免除します。 また、修学資金の借受人が、死亡し、又は災害、病気その他やむを得ない事由により、修学資金の返還ができなくなったときは、修学資金の返還及びその利息の支払の責務の全部又は一部を免除することがあります。
入学辞退	千葉県地域枠入試の出願要件は、「本学に入学する意志を有し、合格した際に入学を確約できる者」であり、合格者はいかなる理由があっても入学を辞退できません。

5. 出願受付期間

令和 7 年 11 月 1 日（土）から 11 月 5 日（水） 17 時まで

出願書類は、出身高等学校で志願者全員の出願書類を一括してとりまとめ、別封筒に封入の上、当該封筒の表面に本学所定のラベルを貼付、記入の上、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

（書式については医学部ホームページをご覧ください。

[https://www.m.chiba-u.ac.jp/admissions/region_sp/]

ただし、推薦人数が 1 名の場合は、当該学校の了解の上、志願者本人が出願用封筒にて郵送（簡易書留・速達）しても差し支えありません。

出願書類の送付先

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学亥鼻地区事務部学務課医学部学務係

6. 出願手続等

千葉大学医学部学校推薦型選抜の出願は、「インターネット出願」による手続となります。

利用案内や出願方法等の詳細は、千葉大学ホームページに掲載する出願サイト（ガイダンスサイト）を参照してください。

なお、インターネット出願では、出願サイトでの出願情報の登録及び検定料の入金だけでは出願は完了しません。出願書類が所定の出願受付期間内に本学に到着してはじめて出願完了となりますので、あらかじめご注意ください。

インターネット出願の流れ					
					
募集要項を 確認 手順〔1〕	出願サイトで出 願情報登録 手順〔2〕	証明写真を アップロード 手順〔3〕	検定料のお支払い 手順〔4〕	志願票を印刷 （学校で取りまとめて） 必要書類を郵送 手順〔5〕	

出願サイト
千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスします。 ガイダンスサイトでは、「利用案内」や「出願方法」のほか、「よくある質問」を掲載していますので、出願を始める前によくお読みください。 https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html

出願期間
出願サイトでの出願情報登録期間 令和7年10月27日（月）10時～11月5日（水）16時 郵送による出願書類受付期間 令和7年11月1日（土）～11月5日（水）17時【必着】
（注）1 出願書類は、配達に要する日数を見込み、余裕をもって郵送してください。出願書類受付期間後に到着した場合は、受理できません。 2 やむを得ず持参する場合は、出願受付期間（土日祝日を除く。）の9時から12時、13時から17時の間に、医学部学務係へ直接持参してください。

出願方法
次ページ以降の(1)出願の手順〔1〕～〔5〕により行ってください。出願方法全般について不明な点があるときは、医学部学務係へ問い合わせてください。

- (注) 1 出願書類に不備があると受理できませんので、間違いのないようよく確認してください。
- 2 受理した出願書類は返却しません。
- 3 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 4 出願後、転居等の理由により、出願サイトで登録した現住所・連絡先に変更がある場合は、直ちに医学部学務係へ連絡してください。

(1) 出願の手順

[1] 募集要項の確認、提出書類の準備

募集要項をよく読んで出願資格を確認し、出願書類等を準備してください。

(注) 1 証明書類(調査書等)の提出が必要です。7ページを確認の上、証明書類を準備してください。

[2] 出願情報の登録

千葉大学ホームページから出願サイト(ガイダンスサイト)にアクセスし、必要事項を登録してください。出願情報の登録の際は、以下の(注)及び出願サイトの「利用案内」や「よくある質問」等をよく読み、誤りがないか必ず確認してください。

出願サイトは、千葉大学ホームページからアクセスしてください。

(<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html>)。

※操作に関するお問い合わせは、専用サポート窓口までお願いします。

志願受付操作サポート窓口

TEL : 0120-752-257 (受付 9 時~20 時)

※お問い合わせの前に「よくある質問」をご確認ください。

(注) 出願情報の登録完了前に「入力内容の確認画面」で入力内容に誤りがないかよく確認してください。入力内容に誤りがある場合には、状況に応じて、以下のとおり対応してください。

■ 出願情報の登録完了前 ▶ 入力画面に戻って誤った内容を修正してください。

■ 出願情報の登録完了後 ▶ 検定料の入金状況により、いずれかの対応をしてください。

1) 検定料入金前 ▶ 検定料は入金せず、再度はじめてから出願情報の登録を行ってください。

誤った内容の出願登録は、そのままにしておいて構いません。

2) 検定料入金後 ▶ 出願サイトでは誤った内容を修正できません。医学部学務係へ連絡してください。ただし、「現住所」と「連絡先」の誤りに限り、「[5] 志願票の印刷・出願書類の郵送」の(注)3のとおり修正してください。

〔３〕証明写真のアップロード

検査当日における本人照合用の証明写真を、出願サイトにアップロードしてください。

- (注) 1 証明写真データは、直近 3 ヶ月以内に撮影した、カラー写真（白黒不可）、上半身・正面・無帽、背景なし、枠なしのものに限ります。英文字や数式、地図等がプリントされている服等を着用しているものも不可とします。
- 2 写真データのサイズは 100KB 以上 5MB 以下、データ形式はファイル拡張子が「jpg」又は「png」のいずれかである必要があります。

〔４〕検定料の支払い 17,000 円

クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、銀行 ATM（Pay-easy）又はネットバンキングで検定料 17,000 円を支払ってください。

上記〔２〕出願情報の登録が完了すると、登録したメールアドレス宛てに出願登録確認メールが届き、支払い方法の詳細をお知らせしますので、よく確認の上、支払ってください。

検定料払込期間：令和 7 年 10 月 27 日（月）から 11 月 5 日（水）16 時まで

- (注) 1 検定料のほかに、手数料（インターネット出願システム使用料）900 円が必要です。なお、手数料は志願者負担となります。
- 2 いったん納入された検定料は、原則返還しません。
- ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が本学所定の返還手続を行った場合は検定料の全額を返還します。返還手続の詳細については、医学部学務係に確認してください。
- なお、返還手続期限は令和 8 年 3 月 31 日（火）となります。

〔５〕志願票の印刷・出願書類の郵送

出願書類は、原則として出身高等学校でとりまとめて提出します。志願者は出願書類①～⑤を用意し、「出願用封筒」に同封の上、出身高等学校に提出してください。なお、志願者本人が直接提出する場合は、出願書類受付期間（３ページ参照）に届くように医学部学務係に簡易書留・速達郵便で送付してください。

- (注) 1 「出願用封筒」は、出願サイトから「出願用ラベル（宛名入り）」をダウンロードし、A4 用紙にカラー印刷したものを、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼付して作成してください。
- 2 「志願票」と「出願用ラベル」は、証明写真のアップロード及び検定料の入金が完了後に印刷可能となります。出願書類が受付期間内に到着するよう、証明写真のアップロード及び検定料の入金は余裕をもって行ってください。
- 3 「志願票」及び「出願用ラベル」の印刷後、記載内容を確認し、誤りがある場合は、速やかに医学部学務係へ連絡してください。ただし、「現住所」及び「連絡先」に誤りがあった場合に限り、二重線を引き（訂正印は不要）、余白部分に正しい内容を明記の上、送付してください。
- なお、「※」がある欄には何も記入しないでください。

出 願 書 類		注 意 事 項 等														
①	千葉大学志願票	出願サイトからダウンロードし、A4用紙にカラー印刷してください。														
②	調 査 書	文部科学省が定めた様式により、出身高等学校長が作成、厳封したもの														
③	推 薦 書	本学部所定の用紙により、出身高等学校長が作成、厳封したもの パソコンで作成可。（書式については医学部ホームページをご覧ください） [https://www.m.chiba-u.ac.jp/admissions/region_sp/]														
④	自己アピール資料	本学部所定の用紙により、志願者本人が作成してください。 パソコンで作成可。（書式については医学部ホームページをご覧ください） [https://www.m.chiba-u.ac.jp/admissions/region_sp/] 記入上の注意事項をよく確認してください。														
⑤	修学資金貸付申請書 等	以下の1～4の書類を提出してください。 各様式は、医学部ホームページからダウンロードし、白色のA4用紙に印刷してください。 医学部ホームページ (https://www.m.chiba-u.ac.jp/admissions/7/) なお、1の書類は本学に提出するもの、2、3及び4の書類は本学を通じて千葉県に提出するものです。 <table border="1" data-bbox="555 1010 1469 1283"> <thead> <tr> <th colspan="2">提出書類</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>確約書</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>修学資金貸付申請書</td><td rowspan="2">連帯保証人2名の印鑑登録をしている 印鑑（実印）を押印してください。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>誓約書</td></tr> <tr> <td>4</td><td>同意書</td><td>連帯保証人1名の印鑑登録をしている 印鑑（実印）を押印してください。</td></tr> </tbody> </table> （注）1 千葉県地域枠入試合格者には、貸付申請者及び連帯保証人（2名）の住民票（3ヶ月以内に発行を受けたもの）及び連帯保証人 2名の印鑑証明書を提出していただきます。 2 その他、千葉県からの要請により、申請に必要な書類の提出を追加で求める場合があります。	提出書類		備考	1	確約書		2	修学資金貸付申請書	連帯保証人2名の印鑑登録をしている 印鑑（実印）を押印してください。	3	誓約書	4	同意書	連帯保証人1名の印鑑登録をしている 印鑑（実印）を押印してください。
提出書類		備考														
1	確約書															
2	修学資金貸付申請書	連帯保証人2名の印鑑登録をしている 印鑑（実印）を押印してください。														
3	誓約書															
4	同意書	連帯保証人1名の印鑑登録をしている 印鑑（実印）を押印してください。														

※国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、一つの大学・学部のみです。

※出願手続後の提出書類の内容の変更は認められません。

※受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。

※志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(2) 生成AIの利用に関する留意事項

出願書類は、入学者受入れの方針等を参照し、自身で考えて作成してください。

(3) 出願書類の受理通知

本学で出願書類を受理した後、不備がなければ、出願サイト（申込確認画面 ▶ 申し込み一覧）にその旨を掲載しますので、確認してください。不備がある場合は、医学部学務係から問い合わせがあります。

(4) 受験票の印刷

以下の日時以降、出願サイトで受験票をダウンロードが可能になります。
受験票は、必ずA4用紙でカラー印刷し、試験当日持参してください。

受験票ダウンロード開始日	令和7年11月11日（火）10時以降（予定）
--------------	------------------------

7. 選抜方法等

- (1) 提出された書類（調査書、推薦書、自己アピール資料）並びに小論文及び面接により、第1次選抜合格者を決定します。
- (2) 第1次選抜合格者に対して、面接により第2次選抜を行います。
- (3) 最終合格者は、第1次選抜の結果、第2次選抜の得点及び令和8年度大学入学共通テストの成績を総合判断のうえ決定します。

なお、第2次選抜における得点が受験者平均点以下の者は、最終合格者とはならない場合があります。また、次に該当する者は、最終合格者とはなりません。

一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施した場合	大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績（配点）の総得点が、同年度の一般選抜(前期日程)「一般枠入試」受験対象者の平均点を下回った者
一般選抜(前期日程)「一般枠入試」において第1段階選抜を実施しない場合	大学入学共通テストで指定する教科・科目の成績（配点）の総得点が概ね80%に到達しなかった者

- (4) 選抜日程、試験科目等は以下のとおりです。

日程	期日	時間	場所
第1次選抜 (面接, 小論文)	11月30日（日）	8:30～	千葉大学医学部
第1次選抜 合格者発表	12月9日（火）	10:00	
第2次選抜 (面接)	12月21日（日）	9:00～	千葉大学医学部
最終合格者 発表	令和8年2月10日（火）	10:00	

- (5) 本学部が指定する大学入学共通テストの教科・科目は以下のとおりです。

共通テスト出願サイトで受験票を取得できるようになりましたら、成績請求情報が記載された「成績請求チケット」も発行できますので、成績請求チケット「国公立推薦型選抜用」を印刷して、令和7年12月26日（金）までに医学部学務係に提出してください。

詳細は選抜当日にお知らせします。

大学入学共通テストの指定教科・科目			
指定教科・科目		指定科目数	
国語	『国語』	1科目	計8科目
地理歴史 公民	『地理総合，地理探求』 『歴史総合，日本史探求』 『歴史総合，世界史探求』 『地理総合／歴史総合／公共 から2』 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』	1科目	
数 学	『数学Ⅰ，数学A』	1科目	
	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	1科目	
理 科	『物理』 『化学』 『生物』	2科目	
外 国 語	『英語』(IC プレイヤーを使用する試験を含む) 『ドイツ語』 『フランス語』	1科目	
情 報	『情報Ⅰ』	1科目	

(注) 地理歴史及び公民において、2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。

8. 合格者発表等

(1) 合格者発表

合格者の受験番号を、下記の日時に千葉大学医学部ホームページに掲載します。

(https://www.m.chiba-u.ac.jp/admissions/region_sp/)

第一次選抜合格者発表：令和7年12月9日（火） 10時（予定）～12月12日（金）17時

最終合格者発表：令和8年2月10日（火） 10時（予定）～2月13日（金）17時

併せて、最終合格者には高等学校長及び合格者本人宛に簡易書留郵便等で通知します。

なお、医学部の掲示板での発表は行いません。また、電話・メール等によるお問い合わせには応じません。

- (2) 合格者は、令和8年2月又は3月に実施する国公立大学の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。
- (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

9. 入学手続

合格者は、本学部の指定する日〔令和8年2月18日（水）16時まで〕に入学手続をしていただくことになります。

なお、千葉大学では『WEB 入学手続システム』を導入しています。合格者の皆様の利便性を図るため、システムを利用いただくことで大学への来校を不要とし、入学料納入もクレジットカード決済やコンビニ支払いとします。『WEB 入学手続システム』や『入学手続』の詳細は、千葉大学ホームページへ掲載し、合格者の皆様には合格通知書とともに手続方法の案内を発送します。

入学手続の際には、次の経費が必要ですので、あらかじめ用意しておいてください。

学 部	入 学 料	学生教育研究災害傷害保険料	合 計
医 学 部	282,000 円	6 年分 7,800 円	289,800 円

(注) 1 入学料については、入学手続時に納入してください。

2 授業料については、入学後の前期分授業料は 5 月に、後期分授業料は 10 月に口座引落しにより納入してください。口座引落し手続等の詳細は、合格者に配布する入学手続の資料でお知らせします。

なお、前期分・後期分授業料はそれぞれ 321,480 円（年額 642,960 円）です。

また、入学して 2 年目から、前期分授業料は 4 月が口座引落しの月となります。

3 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

4 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページでご確認ください。

(URL 並びに入学料及び授業料免除等に関する問合せ先は次のとおりです。)

<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>

6 学生教育研究災害傷害保険料（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。）は、令和8年3月31日（火）までに e-apply サービスによりオンライン決済で納入してください。

詳細は、千葉大学ホームページをご覧ください。

https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html

10. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

本試験に出願を希望する者で、身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ本学部に事前相談の申請を行ってください。

なお、出願締切後の不慮の事故による負傷者等においても、配慮を必要とする者に該当する場合は速やかに事前相談をしてください。

(1) 事前相談の締切日 令和7年9月18日（木）

(2) 提出書類等

① 事前相談申請書

医学部学務係の窓口で直接受け取るか、千葉大学ホームページからダウンロードして入手してください。（https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/R8_pre-consultation_form.pdf）

② 障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書

本学においては、提出された事前相談申請書等に基づき、本学関係者で検討を行います。

ただし、検討の過程において、必要がある場合は直接本人、保護者又は出身学校関係者に照会することもあります。

(3) 書類提出先・問い合わせ先

千葉大学亥鼻地区事務部学務課医学部学務係

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話 043 (226) 2008

II. その他

- ① 受験時に必要な注意事項は、令和7年11月28日（金）9時から試験当日まで医学部掲示板に掲示しますので、各自、確認してください。
- ② 試験当日、受験票は必ず持参してください。（受験票は入学手続時にも必要ですので、大切に保管してください。）
- ③ 試験当日には、最寄りの駅から試験場周辺にかけて合否電報の勧誘や物品の販売等をしていることがありますが、これらの行為は千葉大学とは何ら関係がありません。不当な料金を請求される等のトラブルにまきこまれないよう十分注意してください。そのような事故が生じて、千葉大学は一切責任を負いません。
- ④ 宿泊施設は各自で手配してください。
- ⑤ この入試に関する事務は、土曜日、日曜日及び祝日を除く、9時から17時までです。
- ⑥ この入試に関することは、医学部学務係へ照会してください。
- ⑦ 入試の過程で収集した個人情報は入試の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入試方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- ⑧ この募集要項の内容が変更になる場合は医学部ホームページ（<https://www.m.chiba-u.ac.jp/>）で周知するので確認してください。

千葉大学亥鼻地区事務部学務課医学部学務係

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話 043 (226) 2008

推 薦 書

千葉大学医学部長 殿

高等学校名 _____

学校長氏名 _____ 印

下記のとおり責任をもって推薦致します。

記

1. 生 徒 氏 名

2. 特に推薦する理由

注意○別紙「推薦書記入上の注意」を参照してください。

○字の大きさは11ポイントで、字数は600字程度で記入してください。

○パソコンで作成の場合は、両面印刷をお願いします。

3. 学業，人物，健康状態・その他について

学 業	
人 物	
健康状態・その他	

注意○別紙「推薦書記入上の注意」を参照してください。

○字の大きさは11ポイントで，1ページに納まるように記入してください。

推薦書記入上の注意

1. 特に推薦する理由

本人の学業，人物，その他を含めて推薦する理由とその根拠となっている特別事情（推薦に至った経緯・情報源等）を本人と面接のうえ記入してください。

特に本学部入学者受入れの方針に沿って記入してください。

記入には黒のボールペン又は黒の万年筆を使用してください。

パソコンで作成する場合は，書式については医学部ホームページからダウンロードしてください。

[https://www.m.chiba-u.ac.jp/admissions/region_sp/]

その際，書式を変更しないでください。

2. 学業，人物，健康状態・その他について

< 学 業 >

1. 授業中の活動状況，勉学の自発性，計画性，持続性あるいは理解力，創造的思考能力等及び授業への参加態度，リーダーシップについて，なるべく具体的に記入してください。
2. 本人を推薦される根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。
3. 得意な科目，不得意な科目，好きな科目，嫌いな科目等について記入してください。

< 人 物 >

学業には現れない志願者の得意分野や特技，他の者より優れている資質や特徴，今後努力しなければならないと思う点等，本人の特性をよく表現するような事実，課外活動状況などについて記入してください。

< 健康状態・その他 >

1. 本人の健康状態について，特記事項を記入してください。1週間以上続けて欠席した場合は，その事由（病気の場合は病名）を記入してください。
2. 本人の趣味，特技，生活態度，学業活動以外での特記すべき事項について記入してください。

自己アピール資料

必ず両面印刷してください。

志願者 氏名	(フリガナ)

※

※ 記入しないこと

記入上の注意事項

(自己アピール資料)

1. 本書類は、以下の内容が伝わるように記述してください。

- ・これまでの生活や学業，課外活動・校外活動等において，主体性をもって活動したと自信をもって言えることについて

- ・どのような使命感をもって医学部を受験するに至ったかについて

- ・医学部での学習に対する意欲について

2. 志願者本人が自筆，または PC 等で作成してください。

3. 記載方法は自由です。図や表，写真を含めても構いません。文字の大きさ，色，フォント，縦書き・横書き，余白などに制限はありません。

4. 様式は，A4サイズ一枚（表裏）以内に収めて，両面印刷してください。上記内容が過不足なく表現され，試験官が5分以内に読み終えることができる分量を意識してください。

5. 動画や web ページに誘導する URL や QR コードの使用は認めません。立体の構造物を添付したり，折り紙のように立体構造に変形させたりすることも認めません。印刷した A4 サイズの用紙だけで完結するように作成してください。

チーム医療 I

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course	単位数 / Credits	講義回数 / Number of Classes
前期	1年 / 1 - 2ターム	2.0	20

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	350名
受講対象 / Students for whom Course is Intended	医学部1年, 看護学部1年, 薬学部1年, 工学部4年
授業の方法 / Course Type	講義

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	オンデマンド型 / On-demand type 同時双方向型 / Realtime Streaming type
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Google Workspace / Google Workspace Moodle / Moodle Zoom / Zoom

担当教員 / Instructor

笠井 大

講義コード / Class Code :
M010800601

科目コード / Course Code :
M0108006

ナンバリングコード /
Numbering Code : MM121

概要 / Brief Description	亥鼻IPEでは医学，看護，薬，工学部の学生がともに互いに対等なグループの一員として学習することにより，将来のチーム医療の実践に必要な能力を修得する。 Step 1「共有」は，患者やサービス利用者とふれあう体験，コミュニケーション・ワークショップや，数々のグループワークなどをとおして，「専門職としての態度の基礎を形成し，患者・サービス利用者および他学部の学生とコミュニケーションできる能力」を身につけるステップである。最初に医学生として修得しておくべき医療者としての倫理，救急蘇生の基礎を学習する。	
目標 / Goals	専門職としての態度の基礎を形成し，患者・サービス利用者および他学部の学生とコミュニケーションできる能力。 Step 1の終了時，学生は以下のことができる。 Ⅰ．チームの取り組みと成果を説明できる Ⅱ．チームメンバーそれぞれの専門領域の役割機能を理解し尊重できる Ⅲ．チームメンバー，他の専門職及び教員と肯定的なコミュニケーションをとることができる Ⅳ．患者・サービス利用者とのコミュニケーションから，患者・サービス利用者の体験と希望を理解できる Ⅴ．専門職として成長するために何が必要かを考えることができる Ⅵ．チームの目標達成のために自己の責任を果たすことができる コンピテンス達成レベル表は、備考欄のURLを参照のこと。	
授業外学習 / Self Study	事前学習、リフレクションシートの作成、最終レポート作成	
キーワード / Keywords	チーム医療、専門職連携教育、患者中心の医療、コミュニケーション	
評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria		
項目	%	詳細
試験	0	
レポート	30	最終レポートの内容から学習目標達成状況に関して成績評価を行う
平常点評価	50	グループ（ユニット）活動への参加（観察記録）（20%） 自己評価・グループ（ユニット）評価の入力状況および最終レポート以外の提出物の提出状況および内容（30%） ※プロフェッショナリズムも反する行為があった場合、その内容・程度により平常点評価が減点される。
その他	20	ユニット発表の内容 ※麻疹・風疹に対する基準をクリアしない学生は、特別な理由がある場合を除き、実習に参加することはできない。
評価方法・基準に関する備考		
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業参加態度、リフレクションシートの内容等により必要時フィードバックを実施	

ツク方法 / Feedback	
関連科目 / Related course	
履修要件 / Prerequisite	
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	実務経験のある教員による授業科目
実務経験と授業の関連性 / Relationship between practical experience and course content	病院で診療ケアに携わる医療専門職資格を有する教職員による演習を含む授業である。
教科書 / Textbooks	参 考 文 献 1. CAIPE（専門職連携教育センター：The Centre for the Advancement of Interprofessional Education）： https://www.caipe.org/ 2. JAIPE（日本保健医療福祉連携教育学会）： http://www.jaipe.net/ 3. 亥鼻IPE（千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター）： https://www.n.chiba-u.jp/iperc/ 4. Reeves S, Fletcher S, Barr H, et al. A BEME systematic review of the effects of interprofessional education: BEME Guide No. 39. Medical teacher 2016; 38: 656-668.
参考書 / Reference Books	
備考 / Remarks	「千葉大学医学部HP 教育＞科目別コンピテンシー」をご確認ください。

授業計画詳細情報 / Course Plan Detailed Information

第1回 (2025/04/09)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：第一講義室 担当教員：笠井 大 授業種別：講義・演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：倫理とプロフェッショナリズム入門 Key word：倫理，プロフェッショナリズム，不正行為，ハラスメント，性暴力，急性アルコール中毒，利益相反
備考 / Notes	

第2回 (2025/05/07)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅳ 場所：第一講義室、第二講義室等 担当教員：笠井 大，IPE担当教員 授業種別：講義（Shared learning）・演習（Mix group）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：オリエンテーション・医療の歴史・コミュニケーションWG Key word：IPE，グランドルール，リフレクション，コミュニケーション
備考 / Notes	

第3回 (2025/05/14)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅳ 場所：第一講義室、第二講義室等 担当教員：笠井大、IPE担当教員 授業種別：実習（Mix group）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：当事者体験 Key word：患者会
備考 / Notes	

第4回 (2025/05/21)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅳ 場所：第一講義室、第三講義室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：演習（Mix group）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：ふれあい体験実習オリエンテーション Key word：患者
備考 / Notes	

第5回 (2025/05/28)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：第二講義室、グループ学習室等 担当教員：IPE担当教員，実習病院協力職員 授業種別：実習（Mix group）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：ふれあい体験実習① ＊ ＊ ＊ Key word：患者の思い
備考 / Notes	第6回、第7回のどちらか指定された日に出席すること

第6回 (2025/06/11)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：テュートリアル室等 担当教員：IPE担当教員，実習病院協力職員 授業種別：実習（Mix group）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：ふれあい体験実習② ＊ ＊ ＊ Key word：患者の思い
備考 / Notes	第6回、第7回のどちらか指定された日に出席すること

第7回 (2025/06/18)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅳ 場所：第一講義室等 担当教員：笠井 大、IPE担当教員 授業種別：演習（Unit）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：ふれあい体験実習ふりかえり Key word：グループ・ディスカッション
備考 / Notes	

第8回 (2025/06/25)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅳ 場所：第一講義室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：演習 (Unit)
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：グループワーク発表準備 Key word：プレゼンテーション
備考 / Notes	

第9回 (2025/07/02)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅳ 場所：第一講義室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：演習 (Unit)
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：学習発表会 Key word：プレゼンテーション
備考 / Notes	

第10回 (2025/07/23)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：第一講義室等 担当教員：大島、砂原 他 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：心肺蘇生講義 Key word：Basic Life Support, 心肺蘇生法
備考 / Notes	

チーム医療Ⅱ / Interprofessional Education Ⅱ

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course	単位数 / Credits	講義回数 / Number of Classes
前期	2年 / 1 - 2ターム	1.0	17

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	300名
受講対象 / Students for whom Course is Intended	医学部2年, 看護学部2年, 薬学部2年
授業の方法 / Course Type	講義

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	同時双方向型 / Realtime Streaming type
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Google Workspace / Google Workspace Moodle / Moodle Zoom / Zoom

担当教員 / Instructor

笠井 大

講義コード / Class Code :
M010800300

科目コード / Course Code :
M0108003

ナンバリングコード /
Numbering Code : MM221

概要 / Brief Description	亥鼻IPEでは、医学・看護・薬学部の学生がともに互いに対等なグループの一員として学習することにより、将来のチーム医療の実践に必要な能力を修得する。 Step2「創造」は、保健、医療、福祉現場での見学実習やグループワークをとおり、「チームメンバーそれぞれの職種の役割・機能を把握し、効果的なチーム・ビルディングができる能力」を身につけるステップである。
目標 / Goals	チームメンバーそれぞれの職種の役割・機能を把握し、効果的なチーム・ビルディングができる能力。 Step2の終了時、学生は以下のことができる。 I. チームの目的達成に向け、自分の行動を調整できる II. チームづくりに必要な基礎知識とスキルを理解し、自分のチームに活用できる III. 他の専門職や教員、チームメンバーと、チームの目標達成のために有効なコミュニケーションをとることができる IV. 医療福祉サービスおよび行われているケアを患者・サービス利用者の自律および自立の観点から説明できる V. 実際に行われている治療ケアの根拠と理由を（説明を受けて）理解できる VI. 医療、保健、福祉の場における各専門職の役割機能を説明できる コンピテンス達成レベル表は、備考欄のURLを参照のこと。
授業外学習 / Self Study	事前学習、リフレクションシート提出、最終レポート提出。
キーワード / Keywords	

評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria

項目	%	詳細
試験	0	
レポート	30	最終レポートの内容から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。
平常点評価	50	グループ（ユニット）活動への参加（観察記録）（20%）、自己評価・グループ（ユニット）評価の入力状況および最終レポート以外の提出物の提出状況および内容（30%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。 ※プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合、その内容、程度により評価が減点される。
その他	20	ユニット発表の内容 ※B型肝炎、風疹、麻疹、ムンプス、水痘帯状ヘルペスの抗体価が規定を満たしていないものは授業に参加できない。
評価方法・基準に関する備考		

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法 / Feedback	授業への参加態度、リフレクションシートの内容等により、必要時教員からフィードバックを行う。
関連科目 / Related course	

履修要件 / Prerequisite	
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	実務経験のある教員による授業科目
実務経験と授業の関連性 / Relationship between practical experience and course content	病院で診療ケアに携わる医療専門職資格を有する教職員による演習を含む授業である。
教科書 / Textbooks	参 考 資 料 1. 堀公俊他. チーム・ビルディングー人と人を「つなぐ」技法, 日本経済新聞出版社, 2007. 2. 細田満和子. 「チーム医療」とは何か医療とケアに生かす社会学からのアプローチ, 日本看護協会出版会, 2012. 3. 亥鼻IPE 学習ガイド 資料編 千葉大学 医学部 看護学部 薬学部 4. CAIPE (専門職連携教育センター: The Centre for the Advancement of Interprofessional Education) : https://www.caipe.org/ 5. JAIPE (日本保健医療福祉連携教育学会) : http://www.jaipe.net/ 6. 亥鼻IPE (千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター) : https://www.n.chiba-u.jp/iperc/ 7. Reeves S, Fletcher S, Barr H, et al. A BEME systematic review of the effects of interprofessional education: BEME Guide No. 39. Medical teacher 2016; 38: 656-668.
参考書 / Reference Books	
備考 / Remarks	「千葉大学医学部HP 教育>科目別コンピテンシー」をご確認ください。

授業計画詳細情報 / Course Plan Detailed Information

第1回 (2025/05/22)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ・Ⅳ 場所：第1講義室・第2講義室・同窓会館等 担当教員：医学教育研究室 笠井大, 朝比奈真由美, IPE担当教員 授業種別：講義・演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：①オリエンテーション ②専門職連携とチームについて ③チーム・ビルディング Key word：専門職, チーム・ビルディング
備考 / Notes	

第2回 (2025/05/29)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ・Ⅳ 場所：第1講義室・第2講義室・同窓会館等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義・演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：①多様な実習施設の位置づけ ②実習オリエンテーション ③実習準備 Key word：保健・医療・福祉施設, チーム医療
備考 / Notes	

第3回 (2025/06/12)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ・Ⅳ 場所：第1講義室・第2講義室・第3講義室等 担当教員：実習協力職員 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：実習，病院，地域医療保健施設におけるチーム医療の見学 Key word：専門職連携実践
備考 / Notes	

第4回 (2025/06/19)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ・Ⅳ 場所：第1講義室・第2講義室・グループ学習室等 担当教員：実習協力職員 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：実習，病院，地域医療保健施設におけるチーム医療の見学 Key word：専門職連携実践
備考 / Notes	

第5回 (2025/06/26)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ・Ⅳ 場所：第1講義室・第2講義室等 担当教員：実習協力職員 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：実習，病院，地域医療保健施設におけるチーム医療の見学 Key word：専門職連携実践
備考 / Notes	

第6回 (2025/07/03)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ・Ⅳ 場所：第1講義室・第2講義室等 担当教員：笠井 大，IPE担当教員 授業種別：演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：①保健医療福祉の現場における専門職連携の実践 ②実習振り返り ③発表についての討論 Key word：チーム・ビルディング，専門職連携実践
備考 / Notes	

第7回 (2025/07/10)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ・Ⅳ 場所：第1講義室・第2講義室等 担当教員：笠井 大，IPE担当教員・実習病院協力職員 授業種別：演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：学習成果発表会，全体討議 Key word：プレゼンテーション
備考 / Notes	

チーム医療Ⅲ

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course	単位数 / Credits	講義回数 / Number of Classes
後期	3年 / 後期集中	1.0	10

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	300名
受講対象 / Students for whom Course is Intended	医学部3年, 看護学部3年, 薬学部3年
授業の方法 / Course Type	講義

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	同時双方向型 / Realtime Streaming type
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Google Workspace / Google Workspace Moodle / Moodle Zoom / Zoom

担当教員 / Instructor

笠井 大

講義コード / Class Code :
M010800701

科目コード / Course Code :
M0108007

ナンバリングコード /
Numbering Code : MM321

概要 / Brief Description	亥鼻IPEでは医学，看護，薬学部の学生がともに互いに対等なグループの一員として学習することにより，将来のチーム医療の実践に必要な能力を修得する。 Step3「解決」では，チームにおける対立や葛藤に回避せず向き合っ，患者・サービス利用者中心に解決していくための姿勢や方法を2日間の講義とグループワーク，発表会での討議を通して学ぶ。	
目標 / Goals	患者，サービス利用者，医療専門職間の対立を理解し，問題解決ができる能力。 Step 3の終了時，学生は以下のことができる Ⅰ．学生の立場から専門職としてあるべき姿を考えることができる（プロフェッショナルとしての態度・信念） Ⅱ．対立および対立の解決について説明でき，チームで生じている対立に気づくことができる（チーム運営のスキル） Ⅲ．チームの目標達成のためにチーム内の対立を解決できる（チームの目標達成のための行動） Ⅳ．複数の問題解決案の中から，患者・サービス利用者らの意見を尊重した最も良い方法を，チームとして選択できる（患者を尊重した治療・ケアの提供） Ⅴ．患者・サービス利用者の治療ケアのあり方について，チームメンバーと率直に話し合うことができる（チームの凝集性を高める態度） Ⅵ．学生として現在保有している専門的知識と判断に基づいて，チームメンバーに意見を述べることができる（専門職としての役割遂行） コンピテンス達成レベル表は、備考欄のURLを参照のこと。	
授業外学習 / Self Study	事前学習、リフレクションシート提出、最終レポート提出	
キーワード / Keywords	専門職連携協働、患者中心の医療、対立、ジレンマ、問題解決、プレゼンテーションスキル、リフレクション、フィードバック	
評価方法・基準/ Evaluation Procedures and Criteria		
項目	%	詳細
試験	0	
レポート	30	最終レポートの内容から学習目標達成状況に関して成績評価を行なう。
平常点評価	50	グループ活動への参加（20%），自己評価・グループ評価の入力状況および最終レポート以外の提出物の提出状況および内容（30%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行なう。 ※プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合，その内容，程度により平常点評価が減点される。
その他	20	グループ発表の内容（20%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行なう。
評価方法・基準に関する備考		
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法 / Feedback	授業への参加態度、リフレクションシートの内容等により必要時フィードバックを行う。	
関連科目	学則変更の趣旨 - 73 -	

/ Related course	
履修要件 / Prerequisite	
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	実務経験のある教員による授業科目
実務経験と授業の関連性 / Relationship between practical experience and course content	病院で診療ケアに携わる医療専門職資格を有する教職員による演習を含む授業である。
教科書 / Textbooks	教科書・参考資料 1. 細田満和子：「チーム医療」とは何か医療とケアに生かす社会学からのアプローチ，日本看護協会出版会，2012. 2. 田村由美：新しいチーム医療看護とインタープロフェッショナルワーク入門，看護の科学社，2012. 3. Reeves S, Fletcher S, Barr H, et al. A BEME systematic review of the effects of interprofessional education: BEME Guide No. 39. Medical teacher 2016; 38: 656-668. 医療倫理 4. 赤林朗編：（改訂版）「入門・医療倫理（1）」勁草書房（2017） コミュニケーション，チーム 5. 堀公俊 他：チーム・ビルディングー人と人を「つなぐ」技法，日本経済新聞出版社，2007. 6. エドガー・H・シャイン：人を助けるとはどういうことか本当の「協力関係」をつくる7つの原則，英治出版株式会社，2009. 7. ジョン・P・コッター：第2版リーダーシップ論人と組織を動かす能力，ダイヤモンド社，2012. 参考URL 1. CAIPE（専門職連携教育センター：The Centre for the Advancement of Interprofessional Education）：https://www.caipe.org/ 2. JAIPE（日本保健医療福祉連携教育学会）：http://www.jaipe.net/ 3. 亥鼻IPE（千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター）：https://www.n.chiba-u.jp/iperc/
参考書 / Reference Books	
備考 / Remarks	（～2023年度入学者） https://concm.m.chiba-u.jp/files/5016/4757/8114/cl_ipe3.pdf （2024年度入学者～） 「千葉大学医学部HP 教育＞科目別コンピテンシー」をご確認ください。

授業計画詳細情報 / Course Plan Detailed Information

第1回（2025/12/24）

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第3講義室・第3実習室等 担当教員：笠井 大，IPE担当教員 授業種別：講義（Shared learning），グループワーク（Mix group）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：対立のメカニズム，プレゼンテーションの方法対立や葛藤を分析して伝える

	Key word：専門職連携，対立と葛藤，ジレンマ，プレゼンテーション
備考 / Notes	授業課題：参考資料 IPE学習ガイド Step1, 2の資料

第2回 (2025/01/07)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第3講義室・第3実習室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義（Shared learning），グループワーク（Mix group）
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：対立や葛藤の解決を目指したアプローチ、発表会 Key word：専門職連携，対立と葛藤，ジレンマ，合意形成
備考 / Notes	授業課題：参考資料 IPE学習ガイド Step1, 2の資料

Copyright (C) 2010 - 2025 Chiba University All Rights Reserved.

チーム医療Ⅳ

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course	単位数 / Credits	講義回数 / Number of Classes
前期	1年・2年・3年・4年・ 5年・6年 / 前期集中	1.0	14

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	300名
受講対象 / Students for whom Course is Intended	医学部4年，看護学部3年，薬学部4年
授業の方法 / Course Type	講義

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	同時双方向型 / Realtime Streaming type
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Google Workspace / Google Workspace Moodle / Moodle Zoom / Zoom

担当教員 / Instructor

笠井 大

講義コード / Class Code :
M010800801

科目コード / Course Code :
M0108008

ナンバリングコード /
Numbering Code : MM322

概要 / Brief Description	亥鼻IPEでは医学，看護，薬学部の学生がともに互いに対等なグループの一員として学習することにより，将来のチーム医療の実践に必要な能力を修得する。 4年目のプログラムStep4「統合」では患者・サービス利用者中心の診療・ケア計画をチームで立案する課題について，模擬患者面接，ICFを利用した全人的評価，専門職コンサルテーションとグループワーク，発表会での討議を通して臨床実習で行う診療活動を3日間の集中演習で模擬的に実践する。
目標 / Goals	患者・サービス利用者を全人的に評価し，患者・サービス利用者中心の専門職連携によって診療・ケア計画の立案ができる能力。 Step4の終了時，学生は以下のことができる。 I．チームの目標達成のために，チーム状況を評価し，自己の実践を決定できる（チームの目標達成のための行動） II．チームメンバーの専門性の特徴や限界に基づいてチームメンバーと協力できる（チーム運営のスキル） III．チームメンバー及びかかわる多様な専門職と，良好な人間関係のもと，話しやすい雰囲気を作ることができる（チームの凝集性を高める態度） IV．患者・サービス利用者への全人的評価に基づいた退院計画を，チームとして立案できる（患者を尊重した治療・ケアの提供） V．専門職及び教員の支援を受けて，最新の専門知識を退院計画に反映できる（プロフェッショナルとしての態度・信念） VI．自職種の専門的知識や技術を用いてできることの範囲及び課題を学生の立場から説明できる（専門職としての役割遂行） コンピテンス達成レベル表は，備考欄のURLを参照のこと。
授業外学習 / Self Study	事前学習、リフレクションシート提出、最終レポート提出
キーワード / Keywords	患者中心の医療、国際生活機能分類（ICF）、専門職連携協働、チーム医療

評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria

項目	%	詳細
試験	0	
レポート	30	最終レポートの内容から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。
平常点評価	50	グループ活動への参加（20%），自己評価・グループ評価の入力状況および最終レポート以外の提出物の提出状況および内容（30%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。 ※プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合，その内容，程度により評価が減点される。
その他	20	グループ発表の内容（20%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。
評価方法・基準に関する備考		

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法
/ Feedback

授業への参加態度、リフレクションシートの内容等から必要時フィードバックを行う。

関連科目 / Related course	
履修要件 / Prerequisite	
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	実務経験のある教員による授業科目
実務経験と授業の関連性 / Relationship between practical experience and course content	病院で診療ケアに携わる医療専門職資格を有する教職員による演習を含む授業である。
教科書 / Textbooks	全体資料 亥鼻IPE学習ガイド, 亥鼻IPE学習ガイド（資料編）（moodleに提示） ICF配布資料 各症例に関する参考資料 事前にmoodleで提示する症例に記載 ICF参考資料 厚生労働省ホームページ「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－」（日本語版） https://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html IPE参考 1. CAIPE（専門職連携教育センター：The Centre for the Advancement of Interprofessional Education）： https://www.caipe.org/ 2. JAIPE（日本保健医療福祉連携教育学会）：http://www.jaipe.net/ 3. 亥鼻IPE（千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター）： https://www.n.chiba-u.jp/iperc/ 4. Reeves S, Fletcher S, Barr H, et al. A BEME systematic review of the effects of interprofessional education: BEME Guide No. 39. Medical teacher 2016; 38: 656-668.
参考書 / Reference Books	
備考 / Remarks	（～2023年度入学者） https://concm.m.chiba-u.jp/files/5216/4757/8126/cl_ipe4.pdf （2024年度入学者～） 「千葉大学医学部HP 教育＞科目別コンピテンシー」をご確認ください。

授業計画詳細情報 / Course Plan Detailed Information

第1回 (2025/07/04)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅳ～Ⅴ 場所：第3講義室 担当教員：笠井, 李, 赤坂 授業種別：演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：統計学編3：国際生活機能分類（ICF）の概念を知り、提示された症例での全人的評価ができる。 Key word：ICF, 全人的評価, 退院計画
備考 / Notes	授業課題：国際生活機能分類(ICF)

第2回 (2025/09/16)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第2講義室・第3講義室・第3実習室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義, 演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：患者・サービス利用者を全人的に評価し、患者・サービス利用者中心の専門職連携によって、診療・ケア計画の立案ができる能力を身につける。 Key word：患者中心の医療、専門職連携、医療面接、退院支援、ICF、コンサルテーション
備考 / Notes	授業課題：共通評価項目およびグループ活動への参加、提出物、レポート、発表

第3回 (2025/09/17)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第1講義室・第2講義室・第3講義室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義, 演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：患者・サービス利用者を全人的に評価し、患者・サービス利用者中心の専門職連携によって、診療・ケア計画の立案ができる能力を身につける。 Key word：患者中心の医療、専門職連携、医療面接、退院支援、ICF、コンサルテーション
備考 / Notes	授業課題：共通評価項目およびグループ活動への参加、提出物、レポート、発表

第4回 (2025/09/18)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第1講義室・第2講義室・第3講義室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義, 演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：患者・サービス利用者を全人的に評価し、患者・サービス利用者中心の専門職連携によって、診療・ケア計画の立案ができる能力を身につける。 Key word：患者中心の医療、専門職連携、医療面接、退院支援、ICF、コンサルテーション
備考 / Notes	授業課題：共通評価項目およびグループ活動への参加、提出物、レポート、発表

第5回 (2025/09/24)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第1講義室・第3講義室・第3実習室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義, 演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：患者・サービス利用者を全人的に評価し、患者・サービス利用者中心の専門職連携によって、診療・ケア計画の立案ができる能力を身につける。 Key word：患者中心の医療、専門職連携、医療面接、退院支援、ICF、コンサルテーション
備考 / Notes	授業課題：共通評価項目およびグループ活動への参加、提出物、レポート、発表

第6回 (2025/09/25)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第1講義室・第2講義室・第3講義室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義, 演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：患者・サービス利用者を全人的に評価し、患者・サービス利用者中心の専門職連携によって、診療・ケア計画の立案ができる能力を身につける。 Key word：患者中心の医療、専門職連携、医療面接、退院支援、ICF、コンサルテーション
備考 / Notes	授業課題：共通評価項目およびグループ活動への参加、提出物、レポート、発表

第7回 (2025/09/26)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：第2講義室・第3講義室・第3実習室等 担当教員：笠井 大, IPE担当教員 授業種別：講義, 演習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：患者・サービス利用者を全人的に評価し、患者・サービス利用者中心の専門職連携によって、診療・ケア計画の立案ができる能力を身につける。 Key word：患者中心の医療、専門職連携、医療面接、退院支援、ICF、コンサルテーション
備考 / Notes	授業課題：共通評価項目およびグループ活動への参加、提出物、レポート、発表

医師見習い体験学習

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course	単位数 / Credits	講義回数 / Number of Classes
後期後半	3年 / 5ターム	1.0	7

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	140名
受講対象 / Students for whom Course is Intended	医学部3年生
授業の方法 / Course Type	講義

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	オンデマンド型 / On-demand type 同時双方向型 / Realtime Streaming type
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Moodle / Moodle Zoom / Zoom

担当教員 / Instructor

笠井 大	朝比奈 真由美	
講義コード / Class Code : M015030401	科目コード / Course Code : M0150304	ナンバリングコード / Numbering Code : MM311

概要 / Brief Description	医師のシャドウイングを通して医師の業務、役割を理解する。医師や他の医療専門職、患者とコミュニケーションすることで、自らを省察し、医療人として求められるコミュニケーション能力、プロフェッショナリズム（自覚、利他、共感、患者に対するいたわり・敬意・責任感、守秘義務、プライバシー保持、生涯学習能力）を修得する。 また、現場の医師の様々な働き方を見学し、自らの医師としてのキャリアについて考察する。
目標 / Goals	医療人として求められるコミュニケーション技能、プロフェッショナリズム（規範遵守、自覚、利他、共感、患者に対するいたわり・敬意・責任感、守秘義務、プライバシー保持、生涯学習能力、後輩の教育等）を修得する。 自らのキャリアを考える上で自己主導型学習を行うことができる。 コンピテンス達成レベル表は、備考欄のURLを参照のこと。
授業外学習 / Self Study	事前学習、リフレクションシートの作成・提出、同僚評価の入力
キーワード / Keywords	

評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria

項目	%	詳細
試験	0	
レポート	30	最終レポートの内容
平常点評価	50	指導医による学生のパフォーマンス評価（評定尺度による評価表を利用）およびグループ活動への参加（20%）自己評価、同僚評価の入力および最終レポート以外の提出物の提出及び内容（30%）
その他	20	グループ発表（20%）の内容 *プロフェッショナリズムに反する行為のあった場合、その内容、程度により平常点評価が減点される。
評価方法・基準に関する備考		

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法 / Feedback	リフレクションシートの内容、授業参加態度について必要時に教員からフィードバック 体験実習指導医からフィードバック 同僚学生からフィードバック
関連科目 / Related course	チーム医療Ⅲ（IPE StepⅢ）
履修要件 / Prerequisite	B型肝炎、風疹、麻疹、ムンプス、水痘带状疱疹に対する千葉大学医学部附属病院の基準を満たさない学生、インフルエンザワクチン未接種および健康診断未受診の学生は、特別な理由がある場合を除き、実習に参加することはできない。
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	実務経験のある教員による授業科目
実務経験と授業の関連性 / Relationship between practical experience and course content	実際に医療機関で実務に携わる医師、医療専門職からの指導を受ける

教科書 / Textbooks	
参考書 / Reference Books	
備考 / Remarks	実習先 千葉大学医学部附属病院 地域病院：千葉医療センター，市立青葉病院，市立海浜病院，千葉メディカルセンター，済生会習志野病院など 地域クリニック コンピテンス達成レベル表 (～2023年度入学者) https://concm.m.chiba-u.jp/files/6116/4757/8151/cl_isiminarai.pdf (2024年度入学者～) 「千葉大学医学部HP 教育＞科目別コンピテンシー」をご確認ください。

 授業計画詳細情報
/ Course Plan Detailed Information

第1回 (2025/11/26)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ・Ⅱ 場所：第三講義室 担当教員：笠井 大 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：オリエンテーション Key word：オリエンテーション
備考 / Notes	授業課題：事前学習課題

第2回 (2026/01/14)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：実習先病院、医療施設 担当教員：指導医 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：シャドウイング(見学, 体験), 手伝い Key word：医師見習い, 患者面談, 医療専門職, 振り返り, 同僚評価
備考 / Notes	授業課題：リフレクションシート作成, 面談用紙作成, 自己評価, 同僚評価 白衣, 病院実習のドレスコードに準じた服装, 名札は必須

第3回 (2026/01/15)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：実習先病院、医療施設 担当教員：指導医 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：シャドウイング(見学, 体験), 手伝い Key word：医師見習い, 患者面談, 医療専門職, 振り返り, 同僚評価
備考 / Notes	授業課題：リフレクションシート作成, 面談用紙作成, 自己評価, 同僚評価 白衣, 病院実習のドレスコードに準じた服装, 名札は必須

第4回 (2026/01/19)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ（Ⅳ、Ⅴに続く） 場所：第三講義室 担当教員：笠井 大 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：発表会オリエンテーション Key word：発表会、プレゼンテーション
備考 / Notes	授業課題：リフレクションシート、発表内容作成

第5回 (2026/01/19)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅳ・Ⅴ 場所：第三講義室 担当教員：笠井 大 授業種別：GW
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：討議、発表準備 Key word：チーム学習、プレゼンテーション
備考 / Notes	授業課題：リフレクションシート、発表内容作成

第6回 (2026/01/20)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ・Ⅱ 場所：第二講義室 担当教員：笠井 大 授業種別：GW
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：グループ討議、発表準備 Key word：チーム学習、プレゼンテーション
備考 / Notes	授業課題：リフレクションシート、発表内容作成

第7回 (2026/01/26)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：第三講義室 担当教員：笠井 大，他 授業種別：発表・討議
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：グループ発表・全体討議 Key word：振り返り、プレゼンテーション、評価
備考 / Notes	授業課題：発表、評価、最終レポート

地域医療学

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered 通年	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course 1年・2年・3年・4年・5年 / 集中	単位数 / Credits 1.0	講義回数 / Number of Classes 10
---------------------------------------	---	--------------------------------	--

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	
受講対象 / Students for whom Course is Intended	1年次必修
授業の方法 / Course Type	講義

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Google Workspace / Google Workspace Zoom / Zoom

担当教員 / Instructor

伊藤 彰一	尾崎 尚人	鋪野 紀好
荒木 信之		

講義コード / Class Code : M017350101	科目コード / Course Code : M0173501	ナンバリングコード / Numbering Code : MM081
---	--	---

概要 / Brief Description	地域医療の現状と課題についての基本的知識を得たうえで、地域医療機関で見学・実習を行い、現状と課題についての理解を深めつつ、その発展と改善のための方法を考察する。発表会を通して実習経験を共有し、地域社会や地域医療についての理解を深める。将来医療に携わる者にとって重要な、地域医療学修のスタートアップとなる科目である。 ※地域枠学生は原則として全ての講義・実習に出席すること。 ※地域枠以外の学生は全ての講義に出席すること。希望者は受入れ施設の許容範囲内で早期地域医療体験実習には参加できる（選択）。 ※受講条件は授業計画詳細情報の備考欄を確認のこと。
目標 / Goals	①地域医療の現状と課題について知る。 ②地域医療の発展と改善のための方法について考察する。 ③将来地域医療に携わる者として自らのキャリアをデザインし自己の向上を図る。 コンピテンス達成レベル表は、備考欄のURLを参照のこと。
授業外学習 / Self Study	オンデマンド動画視聴・課題あり https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/c-come/ondemand/
キーワード / Keywords	

評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria

項目	%	詳細
試験	0	
レポート	50	最終レポート *該当するレポートには、課題1と課題2があり、提出のタイミングは以下になる。 1) 地域枠：課題1（第5回後）、課題2（第10回後） 2) 地域枠以外（実習参加）：課題1（第5回後）、課題2（第10回後） 3) 地域枠以外（実習不参加）：課題1・2（第5回後）
平常点評価	50	授業・実習評価（事前・事後課題を含む）
その他	0	
評価方法・基準に関する備考		地域枠学生は実習・成果報告会への参加を単位認定の要件とする

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法 / Feedback	授業中の口頭でのフィードバック等
関連科目 / Related course	
履修要件 / Prerequisite	地域枠学生は、7月9日の地域医療実習までに必須のすべてのワクチン接種を済ませておくこと（参照：履修案内）
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	
実務経験と授業の関連性	

/ Relationship between practical experience and course content	
教科書 / Textbooks	
参考書 / Reference Books	以下の動画を、必要に応じて視聴することを推奨する。 地域医療型医療人材養成プログラム「オンデマンド動画」 https://c-come.m.chiba-u.jp/ondemand/
備考 / Remarks	単位認定のためには原則としてすべての授業（講義・実習）に参加しなければならない。正当な理由による欠席の場合は、可及的速やかにその理由を証明する資料とともに学務係に届け出ること。 【コンピテンス達成レベル表】 (2025年度入学者～) 「千葉大学医学部HP 教育＞科目別コンピテンシー」をご確認ください。

授業計画詳細情報 / Course Plan Detailed Information

第1回 (2025/05/20)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅴ 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 次世代医療構想センター／吉村健佑 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：イントロダクション 千葉県の医療政策と医師偏在対策 Key word：医療政策、医師偏在対策
備考 / Notes	1年次全員必修

第2回 (2025/05/27)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅴ 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：総合診療と家庭医療 Key word：総合診療 家庭医療
備考 / Notes	1年次全員必修

第3回 (2025/06/17)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅴ 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 みつば脳神経クリニック／大木剛 授業種別：講義
--	--

授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：地域医療のしくみ Key word：地域医療のしくみ 地域包括ケアシステム
備考 / Notes	1年次全員必修

第4回 (2025/06/24)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅴ 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、村山愛、森徳郎、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭、柳本蔵人、酒井達也 他 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：千葉県の地域病院の概説 地域医療の現場からⅠ Key word：地域医療の現場から 地域社会 地域医療
備考 / Notes	1年次全員必修

第5回 (2025/07/01)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅴ 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、村山愛、森徳郎、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭、柳本蔵人、酒井達也 他 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：千葉県の地域病院の概説 地域医療の現場からⅡ、早期地域医療実習オリエンテーション① Key word：地域医療の現場から 地域社会 地域医療
備考 / Notes	1年次全員必修

第6回 (2025/07/09)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：学外実習 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 東千葉メディカルセンター医師 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：早期地域医療体験実習 Key word：地域社会 地域医療
備考 / Notes	実習は東千葉メディカルセンターで実施する。 実習施設や公共交通機関等でのマナーに十分留意すること。 1年次地域枠学生必修

第7回 (2025/07/16)

	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：第1講義室
--	----------------------------

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 授業種別：講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：早期地域医療実習オリエンテーション、地域医療ワークショップ Key word：地域社会 地域医療
備考 / Notes	早期地域医療体験実習（11月）への参加認定の要件とする 1年次地域枠学生必修 地域枠以外の学生のうち早期地域医療体験実習に参加するものは必須

第8回 (2025/11/25)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	場所：学外実習 担当教員：地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、村山愛、森徳郎、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭、柳本蔵人、酒井達也 他 医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：早期地域体験実習①（地域病院実習） Key word：地域社会 地域医療
備考 / Notes	早期地域医療体験実習（地域病院実習）は、割振りにしたがって、11月25日と26日のいずれかの実習に参加すること。 実習施設や公共交通機関等でのマナーに十分留意すること。 1年次地域枠学生必修 地域枠以外の学生で早期地域医療体験実習に参加する場合は、オリエンテーションおよび成果報告会への参加を必須とする

第9回 (2025/11/26)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅰ～Ⅴ 場所：学外実習 担当教員：地域病院アテンディング／青木信也、勝山陽太、曾我井大地、村山愛、森徳郎、山田悟史、長谷部圭亮、杉田昌昭、柳本蔵人、酒井達也 他 医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人 授業種別：実習
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：早期地域医療体験実習（地域病院実習） Key word：地域社会 地域医療
備考 / Notes	早期地域医療体験実習（地域病院実習）は、割振りにしたがって、11月25日と26日のいずれかの実習に参加すること。 実習施設や公共交通機関等でのマナーに十分留意すること。 1年次地域枠学生必修 地域枠以外の学生で早期地域医療体験実習に参加する場合は、オリエンテーションおよび成果報告会への参加を必須とする

第10回 (2025/12/17)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	時限：Ⅲ～Ⅴ 場所：第1講義室 担当教員：医学教育学／伊藤彰一、地域医療教育学／鋪野紀好、荒木信之、尾崎尚人
--	--

	人 授業種別：発表会
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	授業内容：成果報告会（発表会）
備考 / Notes	1年次地域枠学生必修 地域枠以外の学生のうち早期地域医療体験実習に参加するものは必須

Copyright (C) 2010 - 2025 Chiba University All Rights Reserved.

地域臨床実習

【目 的】

地域医療の基本的な知識と臨床技能を修得した段階で、地域医療の現場でプライマリ・ケアを実践することにより、全人的な臨床能力の向上を図る。地域診療への参画を通じ、総合的に患者・生活者をみる姿勢を涵養し、地域医療の現状分析と課題発掘を行い、その発展と改善のための方法について科学的視点を含め考察する。地域医療参画の経験を踏まえ自らのキャリアおよび地域医療への貢献をデザインする機会とする。

【担当教員一覧】…千葉大学Moodleを参照。

【ユニット・コンピテンシーと対応する卒業コンピテンシー】

1. 地域医療を担う診療・ケアチームに参画できる。(Ⅰ-4、Ⅰ-6、Ⅳ-1、Ⅳ-2、Ⅳ-3、Ⅳ-4、Ⅳ-5、Ⅳ-6、Ⅳ-8、Ⅳ-9、Ⅴ-1、Ⅴ-2、Ⅴ-3、Ⅴ-4)
2. 患者中心の医療を用いた医療面接ができる。(Ⅰ-3、Ⅱ-1、Ⅳ-1、Ⅳ-2、Ⅳ-7、Ⅳ-8)
3. 患者・生活者の成長、発達、老化、死のプロセスを踏まえ、経時的に患者・家族・生活者に起こり得る精神・社会・医学的な問題に関与できる。(Ⅲ-1、Ⅰ-4、Ⅲ-1、Ⅲ-2)
4. 医療資源に応じたプライマリ・ケアを理解できる。(Ⅲ-7、Ⅲ-8、Ⅴ-1、Ⅴ-3)
5. 医学的・文化的・社会的文脈における健康について理解できる。(Ⅰ-4、Ⅱ-1、Ⅴ-1、Ⅴ-2)
6. 地域医療の現状分析と課題発掘ができる。(Ⅴ-2、Ⅴ-4、Ⅵ-3)
7. 臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。(Ⅲ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-5、Ⅲ-6、Ⅳ-3)
8. 生物・心理・社会的な問題への包括的な視点を持つことができる。(Ⅰ-4、Ⅲ-3)
9. 行動科学に関する知識・理論・面接法を予防医療、診断、治療、ケアに適用できる。(Ⅲ-3、Ⅳ-1、Ⅳ-2、Ⅳ-3、Ⅳ-4、Ⅳ-5、Ⅳ-7、Ⅳ-9)
10. 根拠に基づいた医療の患者への適用について提案できる。(Ⅳ-7、Ⅳ-8、Ⅳ-9、Ⅵ-2)

【実習方法】

配属される地域病院（原則として1施設）における3週間の診療参加型臨床実習
オンデマンド動画の視聴（Off-JT）

c-come 地域志向型医療人材養成プログラム「オンデマンド動画」

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/c-come/index.html>

※実習施設のマッチングについては、①実習期間、②実習施設、の順に希望調査を行い、その結果をもとに決定する。なお、希望が重なる場合には、共用試験結果を参考とする。地域臨床実習施設リストならびに決定方法の詳細については後日千葉大学Moodleに掲載する資料を参照のこと。



【評 価】

地域病院指導医による実習施設での評価（40%）

発表会でのプレゼンテーション（30%）

実習終了時レポート（30%）

【初日集合時間・場所】

詳細については後日千葉大学Moodleに掲載する資料を参照のこと。

【スケジュール】

グループ / 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A グループ	オリエンテーション	地域臨床実習			アスパイアプロジェクトⅠ			アスパイアプロジェクトⅠ			全体発表会（振り返り）
B グループ		アスパイアプロジェクトⅠ			地域臨床実習			アスパイアプロジェクトⅠ			
C グループ		アスパイアプロジェクトⅠ			アスパイアプロジェクトⅠ			地域臨床実習			

* 地域臨床実習はAグループ9/22（月）～10/10（金）、Bグループ10/14（火）～10/31（金）、Cグループ11/4（火）～11/21（金）の期間に行う。

* アスパイアプロジェクト I の期間を活用し、最大9週間連続した長期地域臨床実習を行うことができる（希望者のみ）。

* オリエンテーションは9/17（水）～9/19（金）、全体発表会は11/25（火）～11/28（金）の期間のうちいずれかの日程で行う。

1) オリエンテーションについて

地域臨床実習での診療参加型臨床実習を実施するための説明、シミュレーション教育等を実施する。

2) アスパイアプロジェクト期間を活用した長期地域臨床実習について

希望者については、アスパイアプロジェクト I の期間も活用して、最大9週間連続した長期地域臨床実習が実施できる（地域医療学アドバンストのシラバス参照）。

3) 全体発表会（振り返り）について

地域臨床実習での経験とその振り返りについて各自発表を行う。

4) 注意事項、その他

実習先については事前に希望調査を行い調整する。

実習病院の指導医とのオンライン等での事前打ち合わせを行う場合がある。

スケジュール等の詳細については後日千葉大学Moodleに掲載する資料を参照のこと。

地域医療学アドバンスト

【目 的】

地域医療の基本的な知識と臨床技能を修得した段階で、地域医療の現場でプライマリ・ケアを実践することにより、全人的な臨床能力の向上を図る。地域医療への参画を通じ、総合的に患者・生活者をみる姿勢を涵養し、地域医療の現状分析と課題発掘を行い、その発展と改善のための方法について科学的視点を含め考察する。地域医療参画の経験を踏まえ自らのキャリアおよび地域医療への貢献をデザインする機会とする。

本コースでは、医学部5年次の地域臨床実習の期間に地域医療機関で9週間（「地域臨床実習（臨床実習Ⅰ）」3週間を含む）の長期地域臨床実習を実施するものである。

【担当教員一覧】…千葉大学Moodleを参照。

【ユニット・コンピテンシーと対応する卒業コンピテンシー】

1. 地域医療を担う診療・ケアチームに参画できる。（Ⅰ－4、Ⅰ－6、Ⅳ－1、Ⅳ－2、Ⅳ－3、Ⅳ－4、Ⅳ－5、Ⅳ－6、Ⅳ－8、Ⅳ－9、Ⅴ－1、Ⅴ－2、Ⅴ－3、Ⅴ－4）
2. 患者中心の医療を用いた医療面接ができる。（Ⅰ－3、Ⅱ－1、Ⅳ－1、Ⅳ－2、Ⅳ－7、Ⅳ－8）
3. 患者・生活者の成長、発達、老化、死のプロセスを踏まえ、経時的に患者・家族・生活者に起こり得る精神・社会・医学的な問題に関与できる。（Ⅲ－1、Ⅰ－4、Ⅲ－1、Ⅲ－2）
4. 医療資源に応じたプライマリ・ケアを理解できる。（Ⅲ－7、Ⅲ－8、Ⅴ－1、Ⅴ－3）
5. 医学的・文化的・社会的文脈における健康について理解できる。（Ⅰ－4、Ⅱ－1、Ⅴ－1、Ⅴ－2）
6. 地域医療の現状分析と課題発掘ができる。（Ⅴ－2、Ⅴ－4、Ⅵ－3）
7. 臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。（Ⅲ－3、Ⅲ－4、Ⅲ－5、Ⅲ－6、Ⅳ－3）
8. 生物・心理・社会的な問題への包括的な視点を持つことができる。（Ⅰ－4、Ⅲ－3）
9. 行動科学に関する知識・理論・面接法を予防医療、診断、治療、ケアに適用できる。（Ⅲ－3、Ⅳ－1、Ⅳ－2、Ⅳ－3、Ⅳ－4、Ⅳ－5、Ⅳ－7、Ⅳ－9）
10. 根拠に基づいた医療の患者への適用について提案できる。（Ⅳ－7、Ⅳ－8、Ⅳ－9、Ⅵ－2）

【実習方法】

地域医療機関（原則として1施設）における9週間（地域臨床実習3週間を含む）の診療参加型臨床実習・フィールドワーク等。

オンデマンド動画の視聴（Off-JT） ※視聴が必要な動画は別途連絡する。

c-come 地域志向型医療人材養成プログラム「オンデマンド動画」

<https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/c-come/index.html>

※実習施設のマッチングについては、実習対象施設に関する希望調査を行い、その結果をもとに決定する。

なお、希望が重なる場合には、共用試験結果を参考とする。地域医療学アドバンスト実習施設リストならびに決定方法の詳細については後日千葉大学Moodleに掲載する資料を参照のこと。



【評 価】

ポートフォリオ（50%）

口頭試験（50%）

【初日集合時間・場所】

詳細については後日千葉大学Moodleに掲載する資料を参照のこと。

【スケジュール】

実習期間：9/22（月）～11/21（金）

【注意事項、その他】

実習先については事前に希望調査を行い調整する。

実習病院の指導医とのオンライン等での事前打ち合わせを行う場合がある。

スケジュール等の詳細については後日千葉大学Moodleに掲載する資料を参照のこと。

地域医療実習

- 1) ユニット名 地域医療実習
- 2) ユニット責任者 尾内善広
- 3) ユニット担当教員一覧…千葉大学Moodleを参照のこと
- 4) ユニットの概要

公衆衛生学で担当する分野は、疫学、母子保健、学校保健、感染症、成人・老人保健、地域医療、衛生行政、国際保健、医の倫理など幅広い。実習では、厚生労働省、保健所等千葉県内行政機関、千葉県衛生研究所、地域医療などの現場を体験あるいは地域医療の第一線の実施者が多く参加する学会に参加し、発表や議論を聴講することにより、地域医療における課題や公衆衛生の重要性を理解する。

5) ユニットのゴール、コンピテンスと達成レベル

・ゴール

公衆衛生の現場を実際に体験することにより、公衆衛生的視点を持った医療従事者になること

・コンピテンスと達成レベル

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (地域医療実習ユニット)	
Ⅱ. 医学とそれに関連する領域の知識			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、それらを医療の実践の場で応用できる。医療の基盤となっている生命科学、人口、環境など関連領域の知識と原理を理解している。 以下の知識を有し、応用できる。			
4	病因、構造と機能の異常、疾病自然経過と予防	B	応用できる知識の習得が単位認定の要件である (Applied)
6	疫学、人口統計、環境	B	
7	医療の安全性と危機管理	B	
8	医学医療に影響を及ぼす文化、社会的要因	B	
Ⅲ. 医療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性の頻度の高い健康問題の診断と治療を原則に従って計画できる。			
5	頻度の高い疾患の診断と治療計画を患者の心理・社会的因子、文化的背景、疫学、EBMを考慮して立てられる。	B	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である (Applied)
9	リハビリテーション、地域医療、救急医療、集中医療に参加できる。	B	
14	電子化された医学・医療に関する情報を利用できる。	C	基盤となる態度・スキルの修得が単位認定の要件である (Basic)

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (地域医療実習ユニット)	
V. 医学、医療、保健、社会への貢献			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学、医療に関する保険、保健制度、機関、行政の規則等に基づいた業務と医療の実践、研究、開発を通して社会に貢献できることを理解する。			
1	各種保険制度など医療制度を理解する。	B	理解と計画立案が単位認定の要件である (Applied)
2	患者の診療、健康の維持、増進のために各種医療専門職の有用性を理解する。	B	
3	地域の保健、福祉、介護施設の活用が患者個人と医療資源の適正な利用に必要であることを理解する。	B	理解と計画立案が単位認定の要件である (Applied)
4	患者と家族の健康の維持、増進のために施設を適切に選択できる。	B	
5	地域の健康・福祉に関する問題を評価でき、疾病予防プランを立案できる。	B	
6	医師として地域医療に関わることの必要性を理解する。	B	
7	医学・医療の研究、開発が社会に貢献することを理解する。	B	

・授業スケジュールとコンピテンス

- 1) 厚生労働省、千葉県内行政機関、千葉県衛生研究所などでおこなわれている予防事業の仕組みを理解する。
- 2) 新興感染症、再興感染症、結核、HIV、インフルエンザなどの感染症対策の仕組みを理解し、医療機関との連携のあり方を考察する。
- 3) 公衆衛生における様々な課題抽出、課題解決計画の策定、計画実施、実践の評価、改善への取り組みなどのPDCAサイクルの実践の内容を理解する。

6) 評 価 法

実習に遅刻せず全日程出席すること（含：千葉県公衆衛生学会参加）、全体で行う発表会に遅刻せず出席し、全発表を聴講あるいは視聴（オンデマンド視聴形式の場合）すること、別途通知する期限内にレポート類を提出することが評価の条件である。

各グループの発表（40％）

個人提出のレポート（60％）

7) 授業スケジュールと対応するコンピテンス・レベル（Ap : Applied, Ba : Basic）

5年次生を対象に地域医療実習の説明会を以下のようにMoodle上で資料・動画を公開する形式で実施する。必ず確認・視聴すること。なお、授業のスケジュールは、6年次開始前に配付されるシラバスにて確認すること。

	授業実施日	時 限	場 所	担 当 教 官	授業内容
1	調整中 (8月～11月初旬)	左記期間中随時	Moodle上の 地域医療実習 (5年) コース内	尾 内	実習説明

医 第 9 5 0 号
令和7年8月13日

厚生労働省医政局長 様

千葉県知事 熊谷 俊人
(公印省略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和7年8月5日付け7文科高第666号、医政発0805第5号に基づき、下記のとおり、令和8年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

○ 増員数 34名

- ・ 千葉大学医学部における地域枠：15名
- ・ 順天堂大学医学部における地域枠：5名
- ・ 帝京大学医学部における地域枠：2名
- ・ 東邦大学医学部における地域枠：5名
- ・ 日本医科大学医学部における地域枠：7名

【担当者】

■ [Redacted]
[Redacted] ■
■ [Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

医学への興味を深め、科学的思考を身につける

近年医学の進歩は目覚ましく、医学部で学ぶ内容も量・質とも大変高くなっています。医師として活躍するには共用試験、国家試験などの複数のハードルもあります。しかしながら、これからの医学・医療を牽引していく千葉大学の学生の皆さんに、さらに科学的探究の経験・実践の力も兼ね備えていただきたいと考え、その機会の一つとして「スカラシッププログラム」を導入しています。

スカラシッププログラムは千葉大学で開講している研究室配属です。希望する研究室に数名ずつ配属ののち、研究室単位で学修・研究を行う授業プログラムです。千葉大学では研究マインド涵養を目的とした3年次1月間の基礎研究室配属プログラムを全国に先駆けて実践してきました。現在は臨床の研究室も参加し、形態を新たにしたスカラシッププログラムを実施しており、次のような効果を期待しています。

- ①医学への興味を深めるきっかけを提供し、探究の面白さを実感できる機会となります。
- ②問題点の把握、解決法の計画、検証、考察、発表の一連の流れや論文抄読を実際に体験することでリサーチマインドを涵養し、現状の打開・さらなる発展へのビジョンを描けるようになります。
- ③各研究室での活動を通じ、教員のみならず大学院生、研修医、医学部上下級生たちと時間を過ごすことで、学内における縦横のつながりが形成されるとともに、学内における自分の立ち位置の一つを得ることができます。

スカラシッププログラムの3つのコース

- 01 ベーシック**
1、2年次継続の必修コース。問題・疑問の発見やその解決法を論文抄読会や教室のミーティングなどへの参加・発表を通して学びます。
- 02 アブライド**
3年次の必修コース。
実践した研究内容、抄読会内容などのポスターを全員が作製して発表します。
- 03 アドバンスト**
1年～6年次の選択コース。実際の研究に参加し、学会発表や論文発表など必修コースより高度な研究・発表を行います。

育成を目指す人材像

プログラムを通して、新しい問題点を見出し解決する力、課題解決のビジョンを立てる力を備えた人材を育成します。それらの力は、将来医学・医療・行政どの道に進むためにも必要なものです。

科学的探究への
関心・意欲

医学・医療・保健・
社会への貢献

コミュニケーション
技能

解剖生理学、病理学、
法医学などの基礎研究医学
と臨床研究の橋渡しになる
研究を担当する人材

自ら課題を発見し、
それを解決することを
通じて医学の発展に
貢献していける人材

高い学修効果を実現するための千葉大ならではの工夫

スカラシッププログラムに参加した学生が、より高い学修効果が得られるよう、さまざまな工夫を実施しています。

- ①1年から継続的に参加できます。導入、学修、実践、考察、発表などのステップを学生の意欲とニーズに応じた形で進めていきます。
- ②基礎・臨床教室参加型の教室配属により、学生の多様な興味に対応できます。
- ③柔軟なプログラムで学生の希望する参加形態に合わせた対応が可能です。科学的探究の基礎知識を得る必修のプログラムから、研究を行い学会発表・論文発表という大学院生レベルに近い実践を体験する選択プログラムまで、幅広い形態での参加、期間の選択が可能です。
- ④実際に行った研究は海外・国内の学会、論文等で発表され、毎年数多くの学会発表で最優秀賞、優秀賞を受賞しています。

さらに学生事務局を中心に企画・運営している「ちばBasic & Clinical Research Conference」では学生発表のセッションがあり、優秀な発表者に「るのはな同窓会長賞」の表彰が行われています。最優秀者に選出された学生には千葉医学会奨励賞が授与されます。また、東大をはじめとする他大学医学部との合同発表会である東日本研究医養成コンソーシアムなどでも毎年多くの学生が研究発表を行い、交流が図られています。以上のように個々の学生の自主性を尊重しつつ、潜在能力を伸ばせる場を提供し、指導していくよう心掛けています。

受賞・発表等年間実績

- 研究医養成修学資金奨励学生2名
- 第9回千葉大学医学部 スカラシップ奨励賞10名
- 第9回千葉大学医学部 スカラシップ指導者賞10名
- 第8回るのはな同窓会長賞3名
- 千葉医学会奨励賞2名
- スカラシップ優秀ポスター賞4名
- 第13回東日本研究医養成
コンソーシアム参加学生12名
- 基礎医学研究者養成イニシアチブ参加学生3名
- スカラシップ研究助成9名

その他学会発表・学会での受賞・論文発表多数



千葉大学大学院医学研究院
疾患生命医学
次世代 in vivo 研究探索センター
准教授
坂本 明美

学生と教授・教員を結ぶ懸け橋となり、
将来の進路選択を広げるプログラムです。

千葉大学医学部では、研究医育成を目標として、研究医志望の学生を受け入れ、指導を行う6年一貫のスカラシッププログラムを実施しています。これは、研究医の充実を目指す文部科学省の取り組みにも応えるもので、千葉大学以外にも全国10余りの大学で実施されています。医学部を受験する段階で、将来の目標として研究医を挙げる人はあまり多くはありませんが、直接話を聞くと、「家族のために病気を治す研究をしたい」とか「病気の治療や症状の改善につながるような研究をしたい」と思っている学生もたくさんいます。そんな学生の希望をかなえる学びに巡り合えるように、学生全員に開講しています。そして実際に研究室を回って、担当教授・教員とコミュニケーションをとり、内容や状況を確かめてから研究室を決めてもらっています。「体験・習得・人間的なつながりが得られる」と好評です。まずは始めて、楽しんでもらえると嬉しいですね。



スカラーシップ・アドバンスト

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered 通年	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course 1年・2年・3年・4年・ 5年・6年 / 通年	単位数 / Credits 3.0	講義回数 / Number of Classes 24
---	--	------------------------------------	--

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	
受講対象 / Students for whom Course is Intended	
授業の方法 / Course Type	講義

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	
メディア授業で使用するシステム / System for online class	

担当教員 / Instructor

中島 裕史	木村 元子	坂本 明美
小野寺 淳	山口 淳	医学部 全教員
講義コード / Class Code : M015006001	科目コード / Course Code : M0150060	ナンバリングコード / Numbering Code : MM091

概要 / Brief Description	本ユニットでは、医学、医療の発展のために必要となる、さらに高い学識的な思考と研究開発のための知識、技術、倫理観を、各研究室の研究・抄読会・カンファレンス等への参加（以下、研究への参加）を経験する事により修得する事を目指します。希望する研究室の研究およびBCRC（ちばBasic & Clinical Research Conference）に参加するベーシック（1，2年次対象，必修），3年次の講義「イノベティブ先端治療学」を含むアブライド（必修），研究発表および論文作成を行うアドバンスト（選択）からなります。 ガイダンス後、研究室を選択し、その指導教員（アカデミックメンター）の指示に従って、研究・抄読会・カンファレンス等に参加します。研究室の選択は変更も可能ですが、研究内容の継続性から原則として半年以上ひとつの研究室に所属することが求められます。 研究への参加に関する指導・相談はメンターがあたります。研究室の変更，中断の相談にはユニット責任者があたります。 アドバンストは、4～6年次を目安としていますが、各自の計画により全年次を通して自由に履修して構いません。
目標 / Goals	基礎，臨床，社会医学領域での研究の意義を理解し，科学的情報の評価，批判的思考ができる。新しい情報を生み出すための論理的思考を倫理原則に従って行うことができる。 自ら参加して行った研究結果を論理的にまとめて発表会、学会、論文で発表できる。 コンピテンスと達成レベルは備考欄URLを参照
授業外学習 / Self Study	医学研究の実行、まとめ、およびプレゼンテーションの準備。学会発表。論文作成および発表。
キーワード / Keywords	

評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria

項目	%	詳細
試験	0	
レポート	0	
平常点評価	0	
その他	100	基礎医学、臨床医学、社会医学などに関する研究パフォーマンスを評価する。得られた研究結果を基に作成した論文および研究発表について評価を行う。
評価方法・基準に関する備考		

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法 / Feedback	研究過程における質疑。研究発表に関する質疑。実際の研究中での適時の指導。
関連科目 / Related course	
履修要件 / Prerequisite	
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	実務経験のある教員による授業科目

実務経験と授業の関連性 / Relationship between practical experience and course content	(～2023年度入学者) https://concm.m.chiba-u.jp/files/7016/4757/9063/cl_scholar_advanced.pdf (2024年度入学者～) 「千葉大学医学部HP 教育＞科目別コンピテンシー」をご確認ください。
教科書 / Textbooks	各配属教室に応じた教科書。
参考書 / Reference Books	各配属教室に応じた参考書・論文。
備考 / Remarks	

授業計画詳細情報 / Course Plan Detailed Information

第1回

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	研究テーマ・スケジュール決定
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	各配属教室において、個人の研究テーマと今後のスケジュールを検討する。
備考 / Notes	

第2回

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	研究参加、調査・分析
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	これまでのスカラーシップで身につけた研究手法を生かし、データの収集や調査・分析を行う。
備考 / Notes	

第3回

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	学会・論文発表の準備
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	研究結果をまとめ上げ、学会・論文発表に向けた準備を行う。
備考 / Notes	

第4回

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	学会・論文発表
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	研究成果を学会・論文にて発表する。
備考 / Notes	

イノベティブ先端治療学

① 授業基本情報

/ Course Basic Information

使用言語 / Course Language : 日本語

期別 / Semester Offered 前期	履修年次/ターム / Students'Year/Term to take the Course 1年・2年・3年・4年・5年・6年 / 1 - 2ターム	単位数 / Credits 0.0	講義回数 / Number of Classes 12
---	--	------------------------------------	--

曜日・時限・教室 / Day & Period & Class room

集中講義 (Intensive) 集中講義 :

開講責任部局 / Department, Division	学部／医学部／医学科
副専攻 / Minor	
副題 / Sub Title	
受入人数 / Maximum Number of Students	
受講対象 / Students for whom Course is Intended	
授業の方法 / Course Type	

メディア授業科目該当 / Online courses	対面授業科目（メディア授業実施が半数以下） / On-site courses (Half or less classes of the course are delivered online) ⚠ 「メディア授業科目」は学部学生については、卒業要件単位に含めることができる単位数に上限があります。 / For undergraduate students, there is a restriction on the number of credits earned by online courses that can be counted toward the graduation requirement.
メディア授業実施回数 / Number of online classes	0
メディア授業の種類 / Categories of online class	
メディア授業で使用するシステム / System for online class	Moodle / Moodle

担当教員 / Instructor

本橋 新一郎

講義コード / Class Code :
M015006301

科目コード / Course Code :
M0150063

ナンバリングコード /
Numbering Code :

概要 / Brief Description	イノベティブ先端治療学の講義では、「治療学」という新しい視点に立ち、新規の治療法や治療薬を開発する目的に行われる橋渡し研究（トランスレーショナルリサーチ, TR）による「医療イノベーション」を理解し、医療イノベーションの実践現場の現状を学ぶ。特に優れた基礎研究により産み出された研究成果（シーズ）からTRへと橋渡しされる部分に関して、最新の基礎研究成果を基にした先端的治療の取り組みを通して学ぶ。講義の一部では学生発表を通じて、医療イノベーションに関して能動的に学習する機会を持つ。
目標 / Goals	イノベティブ先端治療学では、新規の治療法や治療薬を研究・開発・実現するためのプロセスや工夫を理解し、基礎研究とともにイノベーションマインドを持つことの重要性を認識する。最新の研究成果を利用した新規治療の開発の現状や問題点を理解し、臨床応用を念頭においた基礎研究の重要性を学ぶ。学生発表は、担当教員とあらかじめ個別に討論を行った後、全員の前でプレゼンテーションをすることで、より積極的に講義に参加し理解を深めるとともに、講義内容の重要性を認識する。 コンピテンス達成レベル表は、備考欄のURLを参照のこと。
授業外学習 / Self Study	本講義で取り扱っている内容は、トランスレーショナルリサーチ実施に際して有用な知見であり、受講者が将来基礎研究から臨床応用を目指す際には必ず役立つ内容である。そのため、各回終了後には講義プリントをくりかえし復習し、自分のものとする。
キーワード / Keywords	

評価方法・基準 / Evaluation Procedures and Criteria

項目	%	詳細
試験	0	
レポート	0	
平常点評価	0	
その他	100	各講義ごとのミニレポート（40%）、学生発表への参加及び討議への参加（20%）、最終レポート（40%）から学習目標達成状況に関して成績評価を行う。
評価方法・基準に関する備考		

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法 / Feedback	オムニバス形式で開講するため、個別のフィードバックは実施しない。フィードバックを希望する者は担当教員に連絡すること。
関連科目 / Related course	
履修要件 / Prerequisite	
実務経験のある教員による授業科目 / Course by practitioner	
実務経験と授業の関連性 / Relationship between practical experience and course content	

/ Textbooks	適宜、参考書を紹介し、プリント等を配布する。
参考書 / Reference Books	
備考 / Remarks	(~2023年度入学者) https://concm.m.chiba-u.jp/files/1516/4757/8076/cl_innovative.pdf (2024年度入学者~) 「千葉大学医学部HP 教育>科目別コンピテンシー」をご確認ください。

授業計画詳細情報 / Course Plan Detailed Information

第1回 (2025/05/08)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅳ限: 神経疾患におけるTR／Translational research for clinical neurology (柘田大生 先生) 場所:第3講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	神経疾患における橋渡し研究(トランスレーショナルリサーチ, TR)について学ぶ
備考 / Notes	

第2回 (2025/05/14)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅳ限: トランスレーショナル先端治療学総論／Introduction of translational advanced therapeutics (花岡英紀 先生) 場所:第3講義
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	トランスレーショナルリサーチについて、その意義や方法とともに、成り立ちの経緯や規制について学ぶ
備考 / Notes	

第3回 (2025/05/26)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 気管支喘息発症メカニズムとTR／Translational research for bronchial asthma (中島裕史 先生、目黒和行 先生) 場所:第3講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	気管支喘息発症のメカニズムを基にしたトランスレーショナルリサーチについて学ぶ
備考 / Notes	

第4回 (2025/05/27)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅳ限: 内分泌・代謝・老年病研究の新展開／Novel development of research in endocrinology, metabology, and gerontology (加藤尚也 先生、熊谷仁 先生) 場所:第3講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	内分泌・代謝・老年病研究の新展開について学ぶ
備考 / Notes	

第5回 (2025/06/02)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 機械学習による疾患層別化予測／Prediction and stratification of diseases using machine learning (川上英良 先生) 場所:第 3 講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	機械学習による疾患層別化予測について学ぶ
備考 / Notes	

第6回 (2025/06/09)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 救急集中治療領域におけるTR／Translational research for emergency and critical care medicine (中田孝明 先生) 場所:第 3 講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	救急集中治療領域におけるトランスレーショナルリサーチについて学ぶ
備考 / Notes	

第7回 (2025/06/10)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅰ 限: 遺伝子細胞治療による難病治療 /Gene/cell therapy for intractable diseases (黒田正幸 先生) 場所:第 3 講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	遺伝子治療による難病治療について学ぶ
備考 / Notes	

第8回 (2025/06/18)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 造血器腫瘍の新しい治療法／Novel Therapies for Hematological Malignancies (堺田恵美子 先生、塚本祥吉 先生) 場所:第 3 講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	造血器腫瘍に対する新しい治療法について学ぶ
備考 / Notes	

第9回 (2025/06/23)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 月経関連疾患から女性を救うために／Saving Women from Menstruation-Related Diseases (甲賀かをり 先生) 場所:第 3 講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	月経関連疾患を患う女性を対象とした治療について学ぶ
備考 / Notes	

第10回 (2025/06/25)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 肺癌に対する免疫治療／Immunotherapy for lung cancer (本橋新一郎 先生) 場所:第 3 講義室
--	--

授業・学習方法や内容 / Methods and contents	肺癌に対する新しいがん免疫治療について学ぶ
備考 / Notes	

第11回 (2025/07/01)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 小児希少がんに対するTR/Translational research for rare pediatric malignancies (菱木知郎 先生) 場所:第 3 講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	小児希少がんに対するトランスレーショナルリサーチについて学ぶ
備考 / Notes	

第12回 (2025/07/02)

主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	Ⅲ限: 医薬品開発における特許の役割/The role of patent in drug development (佐藤直也 先生) 場所:第 3 講義室
授業・学習方法や内容 / Methods and contents	医薬品開発における特許の役割について学ぶ
備考 / Notes	

学部学生による大学院授業科目の先行履修にかかる指定科目（令和7年度開講）

部局名： 医学薬学府

通番	授業コード	授業科目名	単位	ターム	曜日/ 時限	ナンバリング コード	担当教員	使用言語	履修要件	備考
1	J0280001AA	医学薬学研究序説・生命倫理学特論	1	T1	水	6	VC701	池原 譲	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者 ・2年次以上に在籍する研究医科以外の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望し、学業が優秀な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
2	J0281004AA	機能ゲノム学	1	T2	月	6	VC713	三木 隆司	英語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者 ・2年次以上に在籍する研究医科以外の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望し、学業が優秀な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
3	J0281005AA	疾患モデル論	1	T1	月	5	VC714	古関 明彦	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者 ・2年次以上に在籍する研究医科以外の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望し、学業が優秀な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
4	J0282113AA	実践英語1	1	T1	集中	3,4	VC730	本橋 新一郎	英語 ・2年次以上の研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
5	J0282113AB	実践英語2	1	T2	集中	3,4	VC730	本橋 新一郎	英語 ・2年次以上の研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
6	J0282113AC	実践英語3	1	T4	集中	3,4	VC730	本橋 新一郎	英語 ・2年次以上の研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
7	J0282113AD	実践英語4	1	T5	集中	3,4	VC730	本橋 新一郎	英語 ・2年次以上の研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
8	J0282114AA	卓越教養特論	2	通年(通期)	通年	他	VC731	斎藤 哲一郎	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者 ・2年次以上に在籍する研究医科以外の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望し、学業が優秀な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
9	J0281011AB	医薬統計概論	1	T4	木	3	VC722	花岡 英紀	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者 ・2年次以上に在籍する研究医科以外の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望し、学業が優秀な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
10	J0281012AB	臨床研究入門	1	T4-T5(後期)	集中	他	VC723	花岡 英紀	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者 ・2年次以上に在籍する研究医科以外の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望し、学業が優秀な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者	開講時期等は当該年度シラバスを参照
11	J0282001AA	病態制御治療学特論	1	T3	集中	他	VC740	田中 知明	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	2025年度開講
12	J0282003AA	難治性疾患診断学特論	1	T3	集中	他	VC742	新津 富央	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	2027年度開講
13	J0282005AA	環境医学特論	1	T3	集中	他	VC744	金田 篤志	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	2026年度開講
14	J0282023AA	分子細胞薬理学特論	1	T3	集中	他	VC769	安西 尚彦	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	2026年度開講
15	J0282022AA	神経機能構造学特論	1	T3	集中	他	VC748	山口 淳	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	2026年度開講
16	J0282011AA	成人・高齢者医療特論	1	T3	集中	他	VC750	三木 隆司	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	2028年度開講
17	J0282029AA	AI情報医学特論	1	T1	月	他	VC775	川上 恭典	日本語 ・2年次以上に在籍する研究医科の学生で、医学薬学府(4年博士課程)への入学を希望する者	開講時期等は当該年度シラバスを参照

医学部生の大学院授業科目の先行履修について

○研究医枠学生

1. 履修条件

2年次以上に在籍する研究医枠の学生で、医学薬学府（4年博士課程）への入学を希望する者

2. 対象となる授業科目

医学薬学府（4年博士課程）が指定する科目および「大学院共通教育科目」のうちの指定科目

3. 履修可能な単位数の上限

単位数の上限は10単位とする。

4. 履修手続

授業担当教員の承認を得たうえで、学生が自ら履修登録を行う。

5. 成績評価基準

学部学生も大学院学生と同様の基準により評価する。

6. 成績登録

授業担当教員は、履修者に対し成績を登録する。

7. 単位の認定

本学の大学院に進学後、学生からの申請に基づき、大学院科目として単位を認定（既修得単位認定）する。既修得単位認定された科目は医学薬学府の修了要件として取り扱う。

なお、先行履修した科目は学部における卒業要件単位には算入しないこととする。

○認定研究医枠学生

1. 履修条件

2年次以上に在籍する研究医枠以外の学生で、医学薬学府（4年博士課程）への入学を希望し、学業が優秀※な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者

※原則 GPA2.8 以上を基本とするが、必要に応じて科目ごとに別途定めることができるものとする。

2. 対象となる授業科目

医学薬学府（4年博士課程）が指定する科目および「大学院共通教育科目」のうちの指定科目

3. 履修可能な単位数の上限

単位数の上限は6単位とする。

4. 履修手続

授業担当教員の承認を得たうえで、学生が自ら履修登録を行う。

なお、授業担当教員は、履修を承認する際、「スカラーシップ・アドバンスト修得（見込）証明書」により履修条件を満たしているかどうかを確認する。

5. 成績評価基準

学部学生も大学院学生と同様の基準により評価する。

6. 成績登録

授業担当教員は、履修者に対し成績を登録する。

7. 単位の認定

本学の大学院に進学後、学生からの申請に基づき、大学院科目として単位を認定（既修得単位認定）する。既修得単位認定された科目は医学薬学府の修了要件として取り扱う。

なお、先行履修した科目は学部における卒業要件単位には算入しないこととする。

○一般学生

1. 履修条件

4年次に在籍する、研究医粹学生及び認定研究医粹学生に該当しない学生で、本学の大学院への進学を希望し、学業が優秀※な者

※GPA2.8以上を基本とするが、必要に応じて科目ごとに別途定めることができるものとする。

2. 対象となる授業科目

「大学院共通教育科目」のうちの指定科目

3. 履修可能な単位数の上限

単位数の上限は6単位とする。

4. 履修手続

授業担当教員の承認を得たうえで、学生が自ら履修登録を行う。

なお、授業担当教員は、履修を承認する際、当該学生が履修条件を満たしているかどうかを確認する。

5. 成績評価基準

学部学生も大学院学生と同様の基準により評価する。

6. 成績登録

授業担当教員は、履修者に対し成績を登録する。

7. 単位の認定

本学の大学院に進学後、学生からの申請に基づき、大学院科目として単位を認定（既修得単位認定）する。その際の当該科目の修了要件上の取扱いについては、入学した学府・研究科が定めるところによるものとする。

なお、先行履修した科目は学部における卒業要件単位には算入しないこととする。

医学部生の大学院授業科目の先行履修について

○研究医枠学生

1. 履修条件

2年次以上に在籍する研究医枠の学生で、医学薬学府（4年博士課程）への入学を希望する者

2. 対象となる授業科目

医学薬学府（4年博士課程）が指定する科目および「大学院共通教育科目」のうちの指定科目

3. 履修可能な単位数の上限

単位数の上限は10単位とする。

4. 履修手続

授業担当教員の承認を得たうえで、学生が自ら履修登録を行う。

5. 成績評価基準

学部学生も大学院学生と同様の基準により評価する。

6. 成績登録

授業担当教員は、履修者に対し成績を登録する。

7. 単位の認定

本学の大学院に進学後、学生からの申請に基づき、大学院科目として単位を認定（既修得単位認定）する。既修得単位認定された科目は医学薬学府の修了要件として取り扱う。

なお、先行履修した科目は学部における卒業要件単位には算入しないこととする。

○認定研究医枠学生

1. 履修条件

2年次以上に在籍する研究医枠以外の学生で、医学薬学府（4年博士課程）への入学を希望し、学業が優秀※な者、かつ「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得した者又は卒業までに「スカラーシップ・アドバンスト」の単位を修得する見込みがあると指導教員が認めた者

※原則 GPA2.8 以上を基本とするが、必要に応じて科目ごとに別途定めることができるものとする。

2. 対象となる授業科目

医学薬学府（4年博士課程）が指定する科目および「大学院共通教育科目」のうちの指定科目

3. 履修可能な単位数の上限

単位数の上限は6単位とする。

4. 履修手続

授業担当教員の承認を得たうえで、学生が自ら履修登録を行う。

なお、授業担当教員は、履修を承認する際、「スカラーシップ・アドバンスト修得（見込）証明書」により履修条件を満たしているかどうかを確認する。

5. 成績評価基準

学部学生も大学院学生と同様の基準により評価する。

6. 成績登録

授業担当教員は、履修者に対し成績を登録する。

7. 単位の認定

本学の大学院に進学後、学生からの申請に基づき、大学院科目として単位を認定（既修得単位認定）する。既修得単位認定された科目は医学薬学府の修了要件として取り扱う。

なお、先行履修した科目は学部における卒業要件単位には算入しないこととする。

○一般学生

1. 履修条件

4年次に在籍する、研究医枠学生及び認定研究医枠学生に該当しない学生で、本学の大学院への進学を希望し、学業が優秀※な者

※GPA2.8以上を基本とするが、必要に応じて科目ごとに別途定めることができるものとする。

2. 対象となる授業科目

「大学院共通教育科目」のうちの指定科目

3. 履修可能な単位数の上限

単位数の上限は6単位とする。

4. 履修手続

授業担当教員の承認を得たうえで、学生が自ら履修登録を行う。

なお、授業担当教員は、履修を承認する際、当該学生が履修条件を満たしているかどうかを確認する。

5. 成績評価基準

学部学生も大学院学生と同様の基準により評価する。

6. 成績登録

授業担当教員は、履修者に対し成績を登録する。

7. 単位の認定

本学の大学院に進学後、学生からの申請に基づき、大学院科目として単位を認定（既修得単位認定）する。その際の当該科目の修了要件上の取扱いについては、入学した学府・研究科が定めるところによるものとする。

なお、先行履修した科目は学部における卒業要件単位には算入しないこととする。